

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

目 次

全体総括	1
実施事業一覧表	5
(1) 総務課	15
(2) 地域福祉課	
地域福祉班、ボランティアセンター班...	22
こども支援センター班	39
(3) 介護サービス課	
デイサービスセンター班	52
ヘルパーステーション班	55
訪問看護ステーション班	57
ケアプランセンター班	59
(4) このみ坂保育園	61
(5) 障がい者支援センター	
相談支援班、通所支援班	63
スペースアれんが	67
(6) 生活支援相談センター	70

全 体 総 括

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

〔全体評価〕

2019年5月、平成から令和へと改元され日本中が祝賀ムードにつつまれた和やかな幕開けとなった令和元年度。本会では、合志市で安心して暮らせるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりを進めることを基本方針として活動した。

組織経営面では、事務局体系と職務・職域の再編成を行った。平成30年度は10課体制であった事務局を6課に編成することで、連携強化と効率的な管理体制の構築を図った。また、職員の昇格、昇給、教育等において活用を図ることを目的に人事評価制度規程を制定。評価技能の向上を図るための評価者研修を重ねるとともに、部門間のバラツキや制度上の改善点を把握するために予備評価を行った。処遇等への反映については、細部の調整を行った上で次年度以降の導入を目指したい。また、改正社会福祉法による最初の役員の一斉改選が行われたところである。本会では令和元年6月25日、新役員の互選により荒木会長が再任されスタートを切った。合志市民、関係機関から信頼される組織であるよう、あらためてガバナンス強化、コンプライアンス強化に努める。

令和2年に入ると新型コロナウイルス感染症が流行の兆しを見せ、3月に入るところには感染防止のため国・県等からイベントや集客の自粛要請が行われた。本会においても講習会や講演会といった主催事業の中止をはじめ、地域サロン等の市民ボランティアが関わる事業については、自粛要請を行ったところである。

事業面では着実に進展が見られた。判断能力の低下により契約行為等に支障をきたす人を支援する成年後見制度において、社協が後見人となって支援する初めてのケースに取りかかることができ、法人後見業務とともに総合相談機能の体制整備が前進した。

これまで福祉と言えば、特定の人々のサービスといった側面があったと思うが、いまや多くの人の日常の中にあるものとなってきた。保育や介護、療育をはじめ、生活に困窮する問題や地域での見守り活動など、相当な数の人が福祉との関わりを持って生活している。それだけ日常において福祉は身近なものとなったが、社会福祉協議会の知名度は高いとは言えない。しかしながら、本会が実施している福祉活動は、さまざまな地域の活動や経済活動に取り込まれており、その活動を「見える化・見せる化」する必要がある。その一つが広報活動であるが、広報誌「ほっとライン」やホームページをリニューアルしたことで市民から良好な反応をいただいている。広報活動による社協活動の「見える化・見せる化」を進め、さらには地域で活動している社会福祉法人や事業所と連携して、福祉の仕事の魅力を業界全体で発信する取り組みを進めていけるよう努めていきたい。

2000年の社会福祉基礎構造改革により、福祉サービスは「措置から契約」に転換されて20年が経過した。市場原理の導入により多様な事業体がひしめく競争社会でもある。競争と言えども、福祉の仕事はそれ自体が公共的なサービスである。社会福祉協議会はその最前線で活動している。それらの性質から言えば、目の前の困っている人たちをいかに地域住民や他法人と連携、協働して支えることができるか、その体制づくりが社協の役割であり、福祉の仕事でもある。

「社協が行う活動はすべて地域福祉の向上のため」という基軸の下、関係機関、団体との信頼関係の構築に努めること、そして何より職員が安心して働ける環境を整備していくことを並行して進めていき、会長以下、役職員一丸となり合志市民の福祉向上に努めていきたい。

〔事業ごとの評価〕

(1) 地域福祉事業

策定された第3期地域福祉計画・活動計画に基づき活動した。地域包括ケアシステムの構築を目指し引き続き市内の社会福祉法人、民間事業所との共同事業を展開した。今年度は、「この街を良くする歌芽(うたげ)」と称しカフェ形式を介した座談会や、医療機関、熊本高等専門学校での茶話会を実施した。障がいがある方を支援する多機能型事業所での茶話会を予定していたが、感染予防のため延期とした。

福祉活動に参加する機会を提供することは、その地域の住民同士のつながりを創り出すことでもある。認知症予防教室では、地域版の教室を2か所開設(御代志地域、上須屋地域)、地域サロンも同様に2か所開設(辻久保、武蔵野台)することができた。また、定年退職前後の方(シニア世代)は、地域を活性化し、地域の絆をつくり次世代に橋渡しをするための重要な支援者である。この世代の方々が活躍できる活動の場として、社会貢献入門講座「珈琲講座」では、障がい者就労支援事業所と共同してオリジナルコーヒを製作し窓口販売ができるまでになった。

福祉教育活動では、合志中学校でボランティアスクールを開催、新たに学校の授業の一環として取り組んでいただいた。事前学習を受けて、生徒自身が自分たちで取り組めることを考えて行動することで、地域の課題を把握し、その解決のための活動を行った。このサービスラーニングの手法を取り入れた福祉教育活動を普及させていきたい。

今年度は、このような活動が評価され、地域づくりに関わる専門職の全国大会において実践発表の機会を得た。

(2) 相談事業

平成30年5月からヴィーブルで相談業務を行っている生活支援相談センターでは、市民や関係機関から寄せられる福祉に関連する相談が増えている。

生活困窮者を対象とした相談事業では、相談者の心身の障がいや家庭内での介護や子育て、就労先とのかかわりなど、幾つかの問題が重なったことで経済的に困窮する人もおり、複数の機関が連携する体制の構築が欠かせない。また、生活困窮者の相談件数は、全国平均の1.3倍強という状況にあり、ますます本会が果たす総合相談の役割が期待されるところである。

このような中、障がいや認知症等で判断能力が低下されている方で、福祉サービス等の契約の代行や日常生活の金銭管理を行う地域福祉権利擁護事業の対応件数も増加している。また、身内の支援が困難なケースが散見されることから、成年後見制度の利用の増加が見込まれる。

その成年後見制度では、社協そのものが後見人となって受任を行い、後見類型による支援を開始した。今後増加が見込まれる状況を踏まえ、着実に実績と成果を積み上げていきたい。

(3) 介護・看護サービス事業

平成30年度におこなわれた介護報酬の改定では、予防、自立支援を目的に制度全体ではプラス改定とされたが、本会が実施している通所介護事業や訪問介護事業の生活援助などはマイナス改定となった。特に要支援者に対する通所型サービスやヘルパー支援は、人材確保が困難なうえに報酬単価が低く、経営ダメージが大きい。そこで要支援者の入浴を中止し、心身機能の維持、向上を図るために機能訓練と脳トレーニングに比重をおくプログラムに変更した。結果、足腰の痛みが軽減したとの声とともに、要介護者に対する入浴介助の安全性が向上するなどの効果が見られた。

訪問看護ステーションでは、専門職の確保が課題であるが、深夜帯の急変時に対応するため24時間体制を敷き、在宅医療サービスの提供を維持しており、社協が経営する事業所として地域福祉推進の役割を果たしていると考えられる。

介護・看護サービス事業は、地域包括ケアシステムにおいても要となるサービスであり、その実践を通じて利用者やその世帯の生活課題を把握し、ニーズに即した新たなサービスや活動の開発につながる。受け皿としてのサービス提供から地域づくりの視点に基づいた事業展開に努めていく。

(4) 障がい福祉サービス事業

障がい福祉サービスは、「れんがの家」、「スペースれんが」を拠点に活動した。合志市では、多様な事業体の参入が相次いでいることに加え、制度面においても、また政策面においても経営環境が変化している。このような転換期にあつて、障がい者支援センター「れんがの家」を2課から1課3班体制に再編して課内連携の強化と管理体制の整備を図った。

県や療育センター等の専門機関が実施する研修へ計画的に参加し、障がいの理解や支援の質の向上に努めた。また、課内研修やミーティングの内容を各事業で見直しを行い、職員一人ひとりが責任を持ち業務に向き合う仕組み作りに取りこんだ。

障がいに関する相談件数が増加している。その内容も不登校や引きこもり、就労、生活困窮と複合的な課題を有しており、総合相談機能を有する事業の性格が強くなっている。次年度以降、ヴィーブルで実施している生活相談支援センターとの機能調整を図っていく。

環境変化に応じた活動の結果、地域住民や関係機関との調和を図りながら、社協が経営するサービス事業所として安定した事業運営を行うことができた。

(5) 子育て支援事業

合志市は、転入者の多い地域であることをふまえた子育て支援、育成事業に取り組んだ。核家族化が進み、育児をしながら働く世帯やひとり親家庭が増加していることに鑑み、そのような親子が孤立しないように、地域子育て支援センターを中心に仲間づくりや情報交換の場づくりを各地域に積極的に展開した。また、子どもの発達段階や障がいを持つ子どもの家庭が気軽に参加できるようなプログラムや時間帯を工夫して取り組んだ。

事業の実施においては、医療・療育機関と連携を図り、職員や住民サポーターに対する研修の実施と緊急時の助言等に協力していただいた。

公的サービスで補えない子育てニーズを地域住民の参画で運営するファミリーサポート事業では、これまで利用会員であった方が、子どもの成長とともに、今度は子育てをサポートしたいとの思いから養成講座を受講されたことで協力会員の確保につながった。

(6) このみ坂保育園の運営

異年齢保育、障がい児保育に努めた。異年齢編成の保育では、年齢の異なる子ども同士が交流することで人間関係や社会性の築き方など多様な学びや体験が得られた。また、保護者に保育園での生活する様子を伝える工夫として、個人エピソードやクラスのオープン保育など、具体的な子どもの育ちが分かる機会の提供に努めた。

社協デイサービスとの交流や地域福祉課の行事に参加し、利用者やボランティアの方々との交流を通して、異世代・異文化・地域交流活動から多くの経験や関係性を構築できた。また、年間活動として農園や絵本の読み聞かせといった交流は、より深く異世代とのつながりを深めることができた。

このみ坂保育園の保育士は、全員が女性である。女性が働きやすい職場環境を整えることは、専門職の離職を防ぎ、新たな人材の確保につながる。園内での検討を進め法人内での調和を図る取り組みを進めていきたい。

(7) 経営組織、総務

定時の理事会、評議員会に加え、公認会計士や特定社会保険労務士による事務指導を定例化し経理、労務管理の適正性を確保した。また、労務関係法令の改正に伴う規則改正のほか人事評価制度の整備を図った。

事業全般において、当初の計画に基づく事業を実施し、法人経営上においても財務状況でお示しするとおり、経常収支バランスは安定しているものとする。また、昨今の福祉制度の情勢や市の施策を踏まえた柔軟な事業運営と財務基盤の強化に努め、地域共生社会の構築に向けた本会の担う役割を果たしていきたい。

2 本会の総体的な課題

- (1) 各部門における専門職員と登録職員の確保が年々難しい状況になってきており、サービスの質を維持する上で、次世代の人材育成と確保が必須の状況である。
- (2) 法人経営における財務状況は安定しているものの、政策転換等によって減収となった場合、法人の安定的な運営や福祉サービスの維持に与える影響が大きい。

3 上記の課題に対する方針等

- (1) 人材確保を図る上で、より良い職場環境の整備と人材育成制度の構築、経営組織の強化を図る。具体的には、役職、専門性に応じた賃金体系と人事評価制度の導入などに取り組み、職員採用計画などによって安定的な人材の確保に努める。
- (2) 市から示される諸福祉計画等に基づき、本会の担う地域福祉活動を根幹として、地域環境や利用者ニーズに沿った支援サービス事業の運営を、市や関係事業者等と協議しながら進め、その上で、必要な設備投資や新たな経営戦略への展開を図る。また、法人経営における公的支援や事業補助の必要性から、今後も本会の地域福祉活動や福祉サービスへの理解と協力を市民、事業者、関係機関から得られるように働きかけ、信頼される法人運営に努める。

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		総 務 課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
組織経営管理	1	経営組織運営管理	1	評議員会の運営
			2	評議員選任・解任委員会の運営
			3	理事会の運営
			4	監事監査の実施(2回)
	2	社外監査への対応	5	社会福祉法人指導監査
			6	合志市財政援助団体監査
			7	その他事務事業監査
	3	苦情解決体制整備	8	福祉サービス第三者委員の設置
			9	苦情解決責任者、受付窓口の整備
			10	情報公開制度の研究、整備
			11	個人情報保護体制の整備
	4	人事・労務管理業務	12	人事評価制度(処遇改善業務)導入業務
			13	人事管理システム業務
			14	人材交流業務
			15	社会保険労務士による労務指導
			16	市地域包括支援センター出向業務
	5	就業支援業務	17	福利厚生支援業務(健診、被服貸与等)
			18	ヘルスケア推進業務(産業医の設置)
			19	特定求職者就労促進業務
			20	職員研修、資格取得支援業務
			21	職員互助会支援業務
	6	安全管理業務	22	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業
			23	拠点施設防火管理者の設置、自主防災体制の整備
			24	防犯訓練、防犯設備の整備
	7	財務管理業務	25	経営戦略事業(課長会の実施)
			26	資産管理(償却資産の補修保全)
			27	積立資産管理(投資先選定と果実管理)
			28	公認会計士による会計事務指導(毎月)

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		総 務 課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
組織経営管理	8	事業管理業務	29	予算管理(予算編成と差異分析)
			30	事業計画の策定(事業の統括管理)
			31	施設整備計画の策定
			32	事務事業評価の推進
			33	福祉事業における情報処理技術(ICT)の活用
	9	指定管理施設管理業務	34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務
			35	合志市老人憩の家指定管理業務
			36	合志市福祉センターみどり館指定管理業務(令和元年度末まで)
	10	福祉資金貸付事業	37	生活福祉資金貸付事業(熊本県社会福祉協議会受託業務)
			38	福祉金庫貸付事業

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		地域福祉課		
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称	
地域福祉推進事業	11	地域福祉推進助成事業	39	各種福祉団体助成事業(12団体)	
			40	地域組織化推進助成事業(地域福祉連絡協議会)	
			41	サロン活動推進助成事業	
			42	各種特化サロン推進事業	
			43	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携	
	12	人材育成事業(住民参加型)	44	(委)認知症サポーター養成事業	
			45	(委)生活・介護支援サポーター養成事業	
			46	多胎児支援・にこにこツインズ養成事業(子育て主導)	
			47	障がい児支援・ホワイトエンジェル養成事業(れんがの家主導)	
			48	ぼっかぼかサポーター養成事業	
			49	元気応援サポーター養成事業(上記1と連動)	
	13	人材育成支援事業	50	社会福祉士育成支援事業	
				介護福祉士育成支援事業	
				教職員福祉体験実習支援事業	
				ボランティア体験実習支援	
			51	小中高生職場体験実習支援	
			52	ワークキャンプ事業(小学生は地域、中高生は子育て)	
	広報啓発事業	14	地域福祉広報強化推進事業	53	ほっとラインの発行(年12回)
				54	ホームページ運営(本所・このみ坂・れんが)
55				SNS開設運営(フェイスブック、ツイッター)	
15		機動的広報事業	56	出前講座・職員派遣事業(はってん組、各種講座、のぼり旗等)	
			57	視察研修受入事業	
			58	社会福祉関係講習会講師派遣	
地域福祉財源確保事業	16	地域福祉活動財源推進事業	59	社会福祉協議会会員募集の推進(一般会員・賛助会員・法人会員)	
			60	活動寄付・募金の募集	
赤い羽根共同募金事業	17	老人福祉活動事業	61	地域見守り支援事業	
			18	障がい者福祉活動事業	62
	63	視覚障がい者向け情報提供事業(音声訳CD・再生機器ブレストーク提供)			
	64	障がい者への理解と啓発事業(レインボーシアター協働)			

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課名		地域福祉課	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
	19	児童・青少年福祉活動	65	ワークキャンプ事業(小学生は地域、中高生はこども支援センター)
			66	子育てサロン等地域組織化助成活動
			67	どろりンピック(こども支援センター主導)
			68	あぐりっこクラブ(こども支援センター主導)
			69	ボランティア協力校推進事業(14校)
			70	オモイカタルバ(青少年ボランティア・居場所づくり)
	20	母子父子福祉活動	71	母子家庭就労支援事業(母子寡婦福祉連合会協働)
	21	ボランティア活動育成事業	72	ボランティア養成講座
			73	送迎ボランティア養成講座
			74	災害ボランティア養成講座
			75	災害ボランティアコーディネーター養成講座
	22	地域福祉育成援助事業	76	福祉イベント推進事業(ふれあいフェスティバル等)
			77	福祉団体育成助成事業(事業推進助成8団体)
			78	地域福祉推進助成事業(ボラ連・民児協・老連)
			79	モデル地区社協組織化活動助成事業(地協)
			80	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)
			81	地域住民交流促進事業(音楽祭・収穫祭等)
	歳末助け合い事業	23	歳末助け合い事業	82
安心生活創造事業	24	〈福祉課・委〉安心生活創造事業(基幹事業)	83	地域福祉コーディネーター設置事業(3中学校区)
			84	個別ニーズ調査・情報提供事業
			85	避難行動要支援者システム管理事業
			86	民生委員児童委員協働事業
			87	安心ほっとライン設置推進事業
			88	地域支え合いセンター設置事業(行政・民間事業所との連携)
安心生活サポート事業	25	ぼっかぼかサポート事業	89	ぼっかぼかサポート個別登録推進
			90	ぼっかぼかサポート団体登録推進
			91	ぼっかぼかサポート生活困窮者対策推進
			92	ぼっかぼかサポート他事業連携(ファミサポ・子育て等)
			93	(委)ぼっかぼかサポート高齢者ごみ出し支援事業
			94	ぼっかぼかサポート協力会員養成講座(サポーター養成)
			95	ぼっかぼかサポーターフォローアップ講座

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課名		地域福祉課	
	項目	幹	施策	枝
介護予防生活支援事業	26	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症地域支援体制構築等推進事業	96	認知症理解啓発推進事業(講演会・フォーラム等)
			97	ささえ愛ネットワーク模擬訓練(徘徊模擬訓練)
			98	認知症関連地域支援組織化事業(ささえ愛隊協働)
			99	ささえ愛メール配信事業
			100	認知症地域支援推進員配置(3名)
			101	認知症カフェ(ありがとうカフェ)・家族のつどいの開催
	27	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症予防「脳活き生き教室」事業	102	脳活き生き教室開催・通常版(ふれあい館)
			103	脳活き生き教室開催・地域版(須屋・みどり館・泉ヶ丘)
			104	脳いきサポーター養成講座
			105	脳活き生き各種(講話・体力検定・ウォークラリー・青空教室)
			106	認知症予防運動関連事業(コグニサイズ要素)
			107	認知症予防評価事業(ファイブ・コグ)
	28	〈高齢者支援課/包括・委〉 地域住民グループ支援事業(サロン事業)	108	地域サロン推進事業
			109	サロンボランティア育成事業
			110	独居高齢者等訪問事業(民生児童委員協働)
			111	各種サロン普及事業(体操サロン・趣味活動サロン等)
			112	サロン関連研修事業
	29	〈高齢者支援課・委〉高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	113	木工教室の開催
			114	男性の料理教室の開催
			115	生きがい特別講座の開催(例:スマートフォン講座、新聞講座等)
			116	フォローアップ講座の開催(木工、男性料理)
117			各種グループ化推進事業(木工やろう会、男性料理)	
118			男の井戸端サロン協働事業	
30	地域の絆づくり推進事業	119	シニア活動の各種・多方面からの促進	
31	(高齢者支援課・委)介護者育成事業	120	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)	
		121	介護者リフレッシュ事業(自主・つどいと合わせて実施)	
相談体制整備事業	32	(総務課・委)総合相談事業	122	法律・心配ごと相談(みどり館・泉ヶ丘・西庁舎・ふれあい館)
	33	ヴァイブル総合相談事業連携	123	ヴァイブル相談事業所拠点に地域福祉課職員の派遣
	34	(福祉課・委)西合志地区相談事業所拠点整備	124	西合志地区(西庁舎・ふれあい館)での相談体制の確立及び専門相談会(月1回程度)の実施

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		地域福祉課 こども支援センター班	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
地域子育て支援センター事業	35	子育てに関する相談・援助事業	125	子育てに関する相談職員配置
			126	子育て関連情報提供
	36	子育て親子の交流促進事業	127	親子の集いの場の提供(あそびの時間)
			128	就園前の親子の体験活動(わっこくらぶ)
	37	親子の育ち支援事業	129	同じ悩みをもつ親子の集いの場(ツイズ・おもちゃ図書館)
			130	子育てに関する講習会の実施(講演会・離乳食教室)
			131	父親の育児促進(パパのためのタッチケア)
			132	親子の絆づくりプログラム実施(年4回)
	38	地域の子育て力育成事業	133	子育てサロン育成支援
			134	地域の子育て支援者育成
			135	子育て交流事業(交流運動会)
	児童センター事業	39	児童館設置事業	136
137				定期点検・避難訓練実施
40		子育てに関する相談・援助事業	138	児童厚生員配置、スキルアップ研修
			139	子育て関連情報提供
			140	関係機関との連携体制
41		健全育成(個別・集団)事業	141	遊びによる子どもの育成と子育て支援
			142	児童福祉週間特別事業
			143	異世代交流促進事業(クリスマス交流音楽祭 キッズフェス)
			144	ボランティア育成
			145	自然体験・食育活動(どろりんピック どんどこや あぐりっこくらぶなど)
42		体力増進事業	146	体力増進指導の専門員による指導
43		地域組織化活動育成事業	147	子育てネットワークの構築、子育てサークル育成支援
44	年長児童育成事業	148	地域福祉課連携中高生居場所づくり及び音楽スペース開放	
		149	中高生ワークキャンプ実施	
ファミリーサポートセンター事業	45	アドバイザー設置事業	150	多様化する相談と安全な利用を提供するための職員スキルアップ
			151	相談、会員登録、会員管理、援助活動調整業務
	46	協力会員養成及び育成事業	152	協力会員養成講座・フォローアップ研修実施
			153	事業推進のための会員募集及び啓発・広報活動
			154	会員交流促進(全体・協力会員交流会)

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		地域福祉課 こども支援センター班	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
	47	緊急サポート事業(病児・宿泊支援)	155	医療機関との連携体制強化
			156	協力会員育成
病児保育事業	48	病児保育事業(すこやか・ひかり)	157	看護師・保育士配置による保育看護業務
			158	利用登録・広報活動及び定期的職員研修の実施
			159	感染予防・環境整備の実施
			160	医療機関との連携体制整備強化
	49	育児に関する相談・情報提供事業(すこやか・ひかり)	161	定期的健康相談(毎週)と情報提供の実施
放課後児童健全育成事業	50	学童保育事業(キッズ・くすの木・ぴーすクラブ)	162	放課後児童支援員配置及び職員研修実施
			163	環境整備・避難訓練実施
	51	発達に応じた育成支援事業	164	自主性、社会性及び創造性の向上と生活習慣確立支援
			165	障がい児支援
			166	保護者・関係機関等との連携体制強化
長期休暇児童預かり事業	52	長期休暇児童預かり事業(なつっこ・ふゆっこ・はるっこらぶ)	167	児童の健全育成を支援する支援員の確保
			168	学童保育(くすの木クラブ) 合同による健全育成実施
			169	体験・交流活動促進
ひとり親家庭等日常生活支援事業	53	生活援助・子育て支援事業	170	家庭生活支援員派遣業務
			171	関係機関との連携体制
子育て短期支援事業	54	緊急的な児童預かり支援事業	172	関係機関との連携体制
ふらっとホーム太陽事業	55	地域活動促進事業	173	ボランティア育成、地域交流促進

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課名		介護サービス課 デイサービスセンター班	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
介護保険事業所	56	総合事業(委)	174	通所型サービスA
			175	通所型サービスC
			176	訪問型サービスC
	57	通所介護事業	177	指定第1号通所事業
			178	指定通所介護事業
			179	基準該当生活介護サービス

事務事業の実施方針	課名		介護サービス課 ヘルパーステーション班・訪問看護ステーション班	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
訪問介護事業	58	(委)訪問型サービスA業務事業	180	訪問型サービスA支援事業
	59	(委)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	181	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業
	60	訪問介護事業	182	指定訪問介護事業
			183	日常生活総合事業
訪問看護事業	61	指定訪問看護事業	184	有償ホームヘルプサービス事業
			185	指定訪問看護(介護保険)
			186	指定訪問看護(医療保険)
			187	指定難病医療医療機関
			188	指定小児慢性特定疾病医療機関
			189	指定自立支援(精神通院医療)医療機関

事務事業の実施方針	課名		介護サービス課 ケアプランセンター班	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
居宅介護支援事業	62	指定居宅介護支援事業	190	指定居宅介護支援事業
			191	指定介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業
			192	介護認定訪問調査支援事業
			193	介護保険代行申請事業
	63	福祉用具貸出事業	194	福祉用具貸出事業

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課名		障がい者支援センター	
	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域活動支援センター	64	創作的活動・生産活動 (自己実現プログラム) (自立支援プログラム)	195	陶芸
			196	農耕活動
			197	手芸・木工クラブ等
	65	社会との交流を促進する活動 (社会参画プログラム)	198	地域イベントへの参加促進
			199	高齢者サロンとの交流事業の開催
	66	地域住民へのボランティア の育成及び地域啓発活動	200	手話教室の開催
201			広報「レンガだより」の発行	
相談支援	67	合志市相談支援事業	202	地域障がい者支援相談事業の受託運営
	68	指定一般相談支援事業	203	指定一般相談支援事業所(地域移行・地域定着)の設置運営
	69	指定特定相談支援事業	204	障害者相談支援事業所の設置運営
			205	障害児相談支援事業所の設置運営
	70	障害者虐待防止センターの設置	206	合志市障がい者虐待防止センターの受託運営
訪問支援	71	障がい者訪問支援事業の実施	207	ホームヘルパー派遣事業の実施
			208	重度訪問介護事業の実施
			209	同行援護事業の実施
			210	地域支援事業移動支援の実施
通所支援	72	障がい児通所事業所の設置経営	211	就学前児童発達支援事業の実施

事務事業の実施方針	課名		障がい者支援センター	
	幹	施策	枝	事務事業の名称
通所支援	73	障がい児通所事業所の設置経営	212	指定放課後等デイサービス事業の実施(重心児を含む)
			213	就学期日中一時支援事業
	74	障がい者通所事業の設置経営	214	就学後継続支援事業の実施
			215	指定生活介護事業

事務事業一覧表

事務事業の実施方針	課 名		このみ坂保育園	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
保育園の経営	75	通常保育事業	216	通常保育事業
			217	異年齢保育事業
			218	入所児体力増進事業
			219	入所児食育推進事業
	76	その他の事業	220	障がい児保育事業
			221	延長保育事業
			222	一時保育事業(自主事業)
			223	休日保育事業
	77	地域子育て拠点事業(ひろば型)	224	家庭的保育を行う者への支援事業
			225	保育所体験交流事業

事務事業の実施方針	課 名		生活支援相談センター	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
自立相談支援事業	78	自立相談支援事業	226	窓口及び訪問(アウトリーチ)での相談対応業務
			227	就労準備支援事業(任意事業との連携)、就労支援業務
			228	家計相談支援事業(任意事業との連携)
			229	子供の学習支援事業(任意事業との連携)
			230	家族交流会(かたつむりカフェ)の実施
			231	緊急食糧支援業務
福祉後見	79	地域福祉権利擁護事業	232	相談支援、支援計画の作成
			233	生活支援員の指導及び監督
			234	福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理
	80	法人後見設立準備事業	235	関係機関との協働研究及び委員会の運営
	81	成年後見支援センター運営	236	委員会による研究と連携ネットワーク
			237	成年後見等受任
			238	任意後見人契約
			239	後見人等との相談及び支援
			240	市民向け相談及び周知
	82	死後事務等	241	制度外支援(死後事務等)の研究

職員数は令和2年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
総務課		14 (出向4人含む) 人	14 (施設管理含む) 人	28 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 組織運営状況 (重要事項の決議:理事会、評議員会審議事項、監事監査の実施)

- ・役員の推薦(次期役員候補者の選出(理事10名、監事2名))、・評議員候補者の推薦
- ・平成30年度事業報告、決算報告、 ・令和元年度補正予算の審議(2回)
- ・令和2年度年度事業計画、社会福祉事業会計当初予算の審議
- ・役員の選任(会長:荒木義行理事(合志市長)、副会長:坂口静江理事(ボラ連会長))
- ・会長の権限に属する事務の一部の委任について
- ・規則規程(就業規則、給与規程)の改正

(経営適正化の推進:監査、社内経理等事務指導の実施)

- ・監事による監査(年2回)、 ・公認会計士事務所による事務指導(毎月)

(2) 人事労務状況(法人全体)

- ・職員数 (数字)は割合

正規職員	嘱託職員	臨時職員	登録職員	合計
72人(28.5)	46人(18.3)	71人(28.2)	63人(25.0)	252人(100)

- ・入局及び退職

入局			退職		
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
3人	13人	16人	11人	13人	24人

(3) 財務状況

本業の福祉事業である事業活動収入は、7億7702万6千円。施設整備等収入212万3千円、積立資産取崩収入522万8千円を加えた収入総額は、7億8437万8千円であった。一方、事業活動支出は、7億3448万8千円。固定資産取得費、退職給付引当資産支出、積立資産また、受託料返還金を加えた支出総額は7億6776万9千円で、差異1660万9千円の増収。損益状況(事業活動計算書)では、サービス活動収益対経常増減差額比率は2.8パーセント(前年度1.7%)で、2195万5千円の増益。しかしながら、サービス活動収益に占める人件費比率が平成27年度から7割を超えており、引続き専門職の確保のあり方と並行して注視していく必要がある。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 人事評価制度の試行と並行した賃金体系の見直し
- (2) 労働契約法等の改正による非常勤職員の就労体系の見直しと社内規則の整理
- (3) 拠点区分毎の財務管理の体制整備
- (4) 合志市の施策との整合性と経営上の影響(活動拠点や施設管理、補助金、委託事業)

3 今後の方向性

福祉業界のみならず、全産業的に人手不足の克服が経営課題となっており、安定的な法人経営を実現するためには、働きやすい職場環境を整え選ばれる組織とならなければならない。「働き方改革」の趣旨を理解し関連する法令への対応と本会の組織状況にあわせた人事制度の構築を今後とも推進していく。

また、法人が行うすべての活動は、多くの公費が充当されており、適正な会計処理を行うとともに内部牽制体制の強化に努めていく。

社会福祉協議会は、福祉活動を進めるために合志市からの支援と協力の下、市内自治会をはじめ、ボランティア、支援団体、社会福祉法人、民間企業など多くの個人、団体の理解と協力があって成り立っている。住民主体の活動理念の下、多くの関係者とのパートナーシップを構築して、信頼される組織運営を行っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
1-3	理事会、評議員会の運営・実施	継続	独自事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催数 4回(5/29、6/25、12/24、3/18) ・評議員選任委員会 1回(6/11) ・評議員会 3回(6/24、1/10、3/25) (主な協議事項)	根拠法	社会福祉法
	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 ・平成30年度事業報告、決算報告 ・平成31年度補正予算の審議(2回) ・令和2年度事業計画、社会福祉事業区分予算の審議 	実施回数	① 理事会 4回 ② 評議員 3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・組織編制 ・規則規程(職員給与・退職、就業規則等)の改正ほか ・事務次長・園長の選任(任期付職員採用) 	実施場所	社協本所 (ふれあい館)
		定数	① 理事 10人 ② 評議員 15人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
4	経営適正化推進事業(監事による監査:平成30年度分)	継続	独自事業
	(1) 事業報告書は、関係法令及び通知等に従い法人の事業の執行状況を正しく示しているものと認める。	根拠法	社会福祉法 第45条第18項
	(2) 財産目録は、関係法令及び通知等に従い、法人の財産を正しく示しているものと認める。	実施日時	R1年5月17日 R1年11月22日
	(3) 貸借対照表は、関係法令及び通知等に従い、法人の資産と負債の状況を正しく示しているものと認める。	実施場所	ふれあい館
	(4) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関係法令及び通知等に従い、法人の収入と支出、収益と費用の状況を正しく示しているものと認める。	実施機関	本会監事
	(5) 付属明細書は、関連する法令及び通知等に従い、法人の計算書類の明細を正しく示しているものと認める。	人数	2名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
5	社会福祉法人指導監査	継続	その他の事業
	<p>社会福祉法人の適正な運営等を確保するため、監督機関である合志市から、関係法令等に基づく指導監査が定期的に行われている。</p> <p>本会の一般監査の周期は、3年に1回となり前回は、平成28年度に実施されていることから該当年度となった。</p> <p>【改善指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の招集通知については、理事会の決議により評議員会の日時及び場所等を定め、理事が評議員会の1週間前までに評議員に書面または電磁的方法により通知する必要がありますが、招集通知が1週間前までになされていない事例がありましたので、適正に招集通知を行うようにして下さい。 ・助言・アドバイス事項 7点あり 	根拠法	社会福祉法 第56条第1項
		実施日時	R2年1月21日
		実施場所	ふれあい館
		実施機関	合志市
		人数	3名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
8-11	苦情解決体制整備	継続	独自事業						
(事業の内容) 社会福祉法の規定に基づき、本会の実施する福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情に関する社内体制を整備。 (業務体制) ・苦情受付担当者：各課の課長 ・苦情解決責任者：事務局長 ・第三者委員：評議員(民生委員)2名 (取扱件数) ・苦情、要望受付状況 11件 ・申出人 ①利用者6人、②保護者家族2人、③民生委員1人、④その他6人 ・内容 会費や募金について、職員の対応等		根拠法	社会福祉法						
		実績年度	平成30年度分を掲載						
		対象者	福祉サービス等の利用者						
		受付件数	11件						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
15	人事・労務管理業務	継続	独自事業						
15 社会保険労務士による労務指導 ・委託業者 有限会社ビジネス・アシスト ・委託内容 入、退社時申告事務、規則改正時の事務指導ほか		事業費	393千円						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
16	合志市地域包括支援センターへの専門職員の出向	継続	合志市受託事業						
(出向の目的) 保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする地域包括支援センター「包括的支援事業」の実施に関して、3名の専門職を出向させた。 (出向者) <table border="1" data-bbox="215 1713 981 1848"> <thead> <tr> <th>社会福祉士</th> <th>主任介護支援専門員</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名 (嘱託)</td> <td>2名 (正職)</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>		社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	1名 (嘱託)	2名 (正職)	3名	事業費	18,275千円
社会福祉士	主任介護支援専門員	合計							
1名 (嘱託)	2名 (正職)	3名							
		職員数	4名 (出向3, 窓口1)						
		派遣	地域包括センター						
(西合志地区相談窓口業務: 市委託事業) 上記地域包括支援センターの西合志地区における総合相談窓口として、ふれあい館内に社会福祉士1名を配置している。		拠点	ふれあい館内						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
17-21	就業支援事業	継続	独自事業								
17	福利厚生支援業務 職員の福利厚生事業として健康診断、ストレスチェック、インフルエンザ予防接種の補助、被服貸与等を実施。	17 事業費	2,091千円								
	・健康診断受診者数 136名	18 事業費	197千円								
	・ストレスチェック 115名										
	・インフルエンザ予防接種 210名	21 事業費	396千円								
18	産業医 公立菊池養生園に委託。										
21	互助会支援事業 福利厚生の一環として職員互助会へ補助を実施。 132名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
19	特定求職者就労促進業務	継続	その他の事業								
	(1)高年齢者や障害者等の就職困難者の雇い入れを実施。障害の程度により雇用保険の一般被保険者として雇入れることで助成金の対象。	根拠法	雇用保険法								
	(2)雇用実績	助成金額	79万9千円								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手帳所持者数</th> <th>ひとり親家庭</th> <th>高年齢者(60歳以上)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>7</td> <td>52</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table>	手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計	10	7	52	69	助成対象事業	障害者雇用調整金
手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計								
10	7	52	69								
	(3)障がい者の就労状況	対象者	障がい者 本会での実績								
	①就業場所 ふれあい館の清掃業務	助成金対象者数	9名								
	②勤務日 月曜日～金曜日 8:00～12:00/13:00～17:00										
	③雇用実績 8名(指導員1名を別途配置)										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
22-24	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業 拠点防災管理者の設置・自営防火・防犯推進事業	継続	独自事業								
22	安全運転管理者 正:事務局長 副:安全運転管理者2名を配置 (公用車による事故等の状況)	22 事業費	1万9千円								
	・人身事故・・・0件、物損事故・・・16件(前年度20件)	23 事業費	3万円								
	・安全運転意識向上を目的に所有公用車58台中、17台にドライブレコーダーを搭載した。										
23	防火管理者 7名 (防災訓練) 指定管理施設(ふれあい館、老人憩の家、みどり館) このみ坂保育園、れんがの家、各サービス事業所で年2回総合防災訓練の実施。										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
25	経営戦略事業(課長会の実施)	継続	独自事業																
(実施日)	毎月第2火曜日	実 施 日	毎月第2火曜日																
(協議内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・市総合センター生活相談支援センターの体制 ・共同募金委員会の設置について ・ヘルパーステーションの統合 ・個人情報の取扱いについて ・福祉センターみどり館の今後の運営 ・上半期業務執行状況及び決算見込状況 ・人事評価制度、定期職員採用計画 ・施設整備計画、職員意向調査ほか、各課懸案事項や事業計画等の協議を実施 																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
28	公認会計士による会計事務指導(毎月)	継続	独自事業																
・委託業者	加久公認会計士事務所	実 施 日	毎月1回																
・委託内容	毎月1回の定期指導、決算事務指導 消費税申告事務ほか	事 業 費	870千円																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は平成14年6月、保健センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館。以来、社協の拠点として介護保険事業、市委託事業、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開。 ・現在、第4期(平成29～33年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) 各部屋に使用料が必要。(実績) 	営 業 日	事務所機能:無休 ※貸室:火～日																
		営 業 時 間	7:30～20:00																
		休 日	貸室:月曜日 12/29～1/3																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1,701</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>44,970</td> <td>46,671</td> </tr> </tbody> </table>	合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	0	1,701	0	0	44,970	46,671	対 象 者	合志市民
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
0	1,701	0	0	44,970	46,671														
(その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月デイホームの空調機故障。8月よりスポットエアコンを設置。 ・熱交循環ポンプ入替工事。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月より休館となる。 	年 間 利 用 者 数	46,671人																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
35	老人憩の家指定管理業務	継続	合志市受託事業																														
<p>・本施設は平成6年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行う。(それまでは受託事業)</p> <p>・現在、第4期(平成29～33年度)の基本協定を合志市と締結。 (利用者及び利用料金)</p> <p>・60歳以上の高齢者 合志市内/100円、市外/400円 (実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55,572</td> <td>899</td> <td>233</td> <td>0</td> <td>1,486</td> <td>58,190</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他)</p> <p>・8/6,15日、台風接近に伴い休館。9/22台風接近に伴い17時営業終了。</p> <p>・利用者の要望により、12/30まで開館しサービス向上を図った。</p> <p>・受付ほか、施設管理の一部業務を合志市シルバー人材センターに委託。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2/29～3月いっぱい温泉のみ営業。大広間・貸部屋等は中止。3/28～来館者全員検温と連絡先の記入を実施。</p>		合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	55,572	899	233	0	1,486	58,190	営業日	火曜日～日曜日														
合志市		市外		免除	合計																												
個人	団体	個人	団体																														
55,572	899	233	0	1,486	58,190																												
		営業時間	9:00～19:00																														
		休日	月曜日 12/29～1/3																														
		対象者	60歳以上の高齢者																														
		年間利用者数	58,190人																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
36	合志市福祉センターみどり館指定管理業務	継続	合志市受託事業																														
<p>・本施設は平成14年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行う。(それまでは受託事業)</p> <p>・現在、第4期延長(令和元年度)の基本協定を合志市と締結。 (利用者及び利用料金)</p> <p>・入浴料金:合志市内/100円、市外/400円、部屋使用料は別途 (実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,309</td> <td>8,293</td> <td>0</td> <td>178</td> <td>12,598</td> <td>22,378</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他)</p> <p>・8/6,15日、台風接近に伴い休館。9/22台風接近に伴い17時営業終了。</p> <p>・3/31をもって、みどり館指定管理者制度満了。</p>		合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	1,309	8,293	0	178	12,598	22,378	営業日	月曜日～日曜日														
合志市		市外		免除	合計																												
個人	団体	個人	団体																														
1,309	8,293	0	178	12,598	22,378																												
		営業時間	9:00～21:30																														
		休日	火曜日 12/29～1/3																														
		対象者	合志市民																														
		年間利用者数	22,378人																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
37	生活福祉資金貸付事務事業	継続	県社協受託事業																														
<p>(事業の内容)</p> <p>・「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に実施。</p> <p>(貸付対象)</p> <p>・低所得世帯(市町村住民税非課税程度)、高齢者世帯、障がい者世帯 (実績) 上段:相談件数、下段:貸付決定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>母子等</th> <th>障がい</th> <th>失業</th> <th>借金</th> <th>生業</th> <th>低所得</th> <th>不動産担保</th> <th>生活保護</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他)</p> <p>・R1.3.25よりコロナウイルスの影響で収入減による緊急小口資金特例貸付開始</p>		母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	その他	合計	6	4	9	0	0	14	0	1	16	50	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	相談日	月曜～金曜
母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	その他	合計																								
6	4	9	0	0	14	0	1	16	50																								
0	1	0	0	0	0	0	1	0	0																								
		相談時間	8:30～17:30																														
		対象者	低所得世帯 障がい者世帯等																														

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
38	福祉金庫貸付事業	継続	独自事業
(事業の内容) ・本金庫は、生活困窮のため、一時的に借受ける者に貸付け、当該世帯の生活の自立更生を図ることを目的に実施。 (貸付対象) ・本市に1年以上居住し、生活困窮で一時的に貸付を要する状態にある方。 (実績) ・令和元年度 3件 (徴収不能) ・令和元年度 0件		相談日	月曜～金曜
		相談時間	8:30～17:30
		対象者	低所得世帯
		限度額	10万円



□ぽっかぽかサポート＝窓拭き支援の様子

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
地域福祉課 地域福祉班・ボランティアセンター班		8 人	3 人	11 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

今年度本課の目標は行政と連携した地域包括ケアシステムの確立のため、あらゆる社会資源(住民・社福法人・企業等)との連携を模索し地域福祉力の強化することを目標とし以下の5項目に取り組んだ。

1、人育ての強化

新しい取り組みでボランティアスクールを合志中学校で行った。自分達で取り組める内容を考え、住民さんの困りごとに対する支援(ぽっかぽかサポート)と高齢者施設(紀水ナーシングホーム)でのボランティア活動を行った。その中で感じたことをボランティア連絡協議会が毎年行っている交流会の中でボランティアトークとして発表し、市長、ボランティア連絡協議会会長、他のボランティア活動を行っている熊本高専のメンバーとのディスカッションを行い、評価を得た。

2、参加の場面の創出

目標であった認知症予防教室の地域版教室が2か所創設。それぞれの場所で取り組みやすく継続できる内容を考え、提案し“特化型サロン”として立ち上げた。通常の高齢者サロンでは辻久保区と武蔵野台区2か所に新たに立ち上がった。脳生きサロン、また通常サロンそれぞれ次年度以降2か所新規立ち上げ予定。また次世代橋渡し世代で取り組んできた珈琲講座のフォローアップを、今年度サンシャインワークス(障がい就労支援事業所)と一緒にオリジナルコーヒーづくりに取り組んだ。2種類のオリジナルコーヒーができ、当会の窓口で販売している。コーヒーができたことで、「ブレンド珈琲倶楽部」という名称で組織化され、参加者の意欲も見られるため、今後地域貢献活動(ソーシャルビジネス)が期待される。

3、広報機能の強化

広報誌ほっとライン作成、ホームページの構築を含め依頼業者をプロポーザルで決定した。広報誌を多くの住民の目に留まるよう各月を毎月の発行とし、紙面のデザインも一新しフルカラーとした。講座募集など問い合わせが多くなったこと、「見やすくなった、見たよ」という市民の声が増えたことも含め、当会の理解につながっていると思われる。

4、各種連携の強化

スリースマイル秋桜で夜間開催した「この街を良くする歌芽(うたげ)」、合志第一病院、熊本高専で行ったスマートフォン講座内での「この街を良くする茶話会」を実施した。3月にはサンシャインワークスで行う予定であったが新型コロナウイルスの影響で延期になっている。会を重ねるごとに各種団体と今まで以上に連携が図れるようになった。今後は共働できることを考えていきたい。

5、「共同募金委員会」発足以降後の円滑な運営

合志市共同募金委員会は、本年度当初から準備に取り組み、6月25日に委員会を発足した。本年度の募金の状況を報告し、来年度の目標額運営の方針を決めた。募金への理解を深めていただけるよう本会から区長会などに出向き説明の機会を持つべきなど意見をいただき、今後取り組んでいきたい。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 地域包括支援センターランチ機能を地域福祉課の一機能として一体化し専従の職員を配置した。そのことを周知できたこともあり相談が増えている。それに対応するためケアマネージャーを募集したが問い合わせがなく採用できていない。委託事業元である市の包括からの依頼である個別計画作成まで至っていない。

3 今後の方向性

- ・ 近年地域の状況が変化していることで新たな地域課題が出ていると思われる。地域課題の抽出、地域状況、地域資源把握をするために、ニーズ調査を始めたい。
- ・ 合志市は今後も若い世代が増える状況でもあり、今後も小中高校へ福祉教育をサービスラーニングとして提案を行い、全世代が地域活動に参加できる仕組みを構築したい。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態									
39-43	地域福祉推進助成事業	継続	独自事業									
	地域福祉推進を目的に下記のとおり助成を行った。 1 各種福祉団体助成事業 保護司会合志分会、身体障害者福祉協議会、ひとり親家庭福祉協議会、子ども会育成連絡協議会、区長協議会、障害者親の会(虹の会)、更生保護女性会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会 2 障がい者支援作業所支援事業 オリーブの会(パレットハウス) 3 地域福祉連絡協議会 モデル地区5地区(須屋、黒石、中央、野々島、合生地区) 4 サロン推進助成事業 高齢者サロン48団体、子育てサロン7団体、趣味活動サロン5団体	実施日時	通年									
		対象者	各種団体									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態									
44	(委)認知症サポーター養成事業 認知症理解啓発、ネットワーク構築	継続	合志市受託事業									
	認知症高齢者等と家族を支えるため、認知症への対応(予防、早期発見、ケア等)を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互連携を図りながら有効な支援体制の構築を目的に実施した。 ・認知症サポーターの養成 認知症の方との関わり方や、地域の中で認知症の方が穏やかに生活し続けていけるためにできることを考えるきっかけとして、住民・子ども・子育て親子・企業に「にわか劇」や人形劇等を用いて実施した。 実施回数・養成数/12回・573人 ・認知症子ども劇団の活動 ささえ愛ネットワーク模擬訓練に合わせ、対象地域の児童がサポーターとしての声掛け役となり、参加者へデモンストレーションを実施。	事業費	1,145千円									
		実施日時	通年									
		実施場所	公民館 小学校等									
		対象者	市民全般									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態									
45 49	生活・介護支援サポーター養成・元気応援サポーター養成	継続	合志市受託事業									
	地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するため、市民の主体性に基づき運営される新たな住民参加サービス等の担い手として地域サポーターの育成に努めた。平成21年度から継続的に受託し、この養成事業を契機にサポーター認定制度(エグゼクティブ、スーパー)を取り入れ、当該サポーターの啓発と地域での積極的活動へ促進を図った。また今年度より、生活介護支援サポーター受講者を市認定の「元気応援サポーター(訪問型Aサービス活動者)」としての認定・登録を2名行った	事業費	442千円									
		実施日時	左記記載									
		実施場所	ふれあい館									
		対象者	一般住民 家族介護者等									
		人数	29人									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>養成種別</th> <th>受講時間</th> <th>養成人数(認定者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぽっかぽかサポーター</td> <td>2時間</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>エグゼクティブ・サポーター</td> <td>16時間</td> <td>12人(9名)</td> </tr> </tbody> </table>	養成種別	受講時間	養成人数(認定者)	ぽっかぽかサポーター	2時間	17人	エグゼクティブ・サポーター	16時間	12人(9名)		
養成種別	受講時間	養成人数(認定者)										
ぽっかぽかサポーター	2時間	17人										
エグゼクティブ・サポーター	16時間	12人(9名)										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
50	人材育成支援事業(福祉人材育成)	新規	独自事業																		
<p>社会福祉士や介護福祉士の資格取得のため、またボランティア体験等を通じ、福祉の仕事に対するやりがいや関心を高めてもらう、福祉人材育成の推進を行った。</p> <p>平成30年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校・:体験名等</th> <th>人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本学園大学</td> <td>2名</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>九州看護福祉大学</td> <td>1名</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>九州保健福祉大学</td> <td>1名</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>介護等体験</td> <td>5名</td> <td>教員免許</td> </tr> <tr> <td>福祉の職場体験実習</td> <td>1名</td> <td>ボランティア体験</td> </tr> </tbody> </table>		学校・:体験名等	人数	内容	熊本学園大学	2名	社会福祉士	九州看護福祉大学	1名	社会福祉士	九州保健福祉大学	1名	社会福祉士	介護等体験	5名	教員免許	福祉の職場体験実習	1名	ボランティア体験	実施日時	左記記載
学校・:体験名等	人数	内容																			
熊本学園大学	2名	社会福祉士																			
九州看護福祉大学	1名	社会福祉士																			
九州保健福祉大学	1名	社会福祉士																			
介護等体験	5名	教員免許																			
福祉の職場体験実習	1名	ボランティア体験																			
		実施場所	ふれあい館																		
		対象者	左記																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
52・65	社会福祉ワークキャンプ事業	継続	独自事業																		
<p>熊本県にて7、8月に展開されている「ボランティア体験月間」に伴い、福祉やボランティアへの関心を深める体験や講習会を通じて、地域の様々な問題・自分たち自身の問題について考えるきっかけづくりとして児童・生徒を対象とした体験学習を各ボランティア協力校等に参加を呼びかけ開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者</th> <th>人数</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月20日～21日</td> <td>小学生高学年(6校)</td> <td>21人</td> <td>三つの木の家等</td> </tr> <tr> <td>7月30日・8月7日</td> <td>中高校生(4校)</td> <td>19人</td> <td>ふれあい館</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10校</td> <td>40人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実施日	参加者	人数	場所	8月20日～21日	小学生高学年(6校)	21人	三つの木の家等	7月30日・8月7日	中高校生(4校)	19人	ふれあい館	計	10校	40人		実施日時	左記記載		
実施日	参加者	人数	場所																		
8月20日～21日	小学生高学年(6校)	21人	三つの木の家等																		
7月30日・8月7日	中高校生(4校)	19人	ふれあい館																		
計	10校	40人																			
		実施場所	左記記載																		
		対象者	市内小中高校																		
		人数	40人																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
53-55	地域福祉広報強化推進事業	継続	独自事業																		
<p>地域福祉及びボランティア活動の情報を発信し関心ときっかけづくりに努めた。地域住民に正確な情報を分かりやすく、可視化し、整理・統合するため、広報誌とホームページをリニューアルした。</p> <p>住民参加型の支援・サービスへの取り組みを重点に活動紹介等を行った。</p> <p>1 ほっとラインの発行 (ア) 毎月12回発行、嘱託員を通じて配布、総発行250,000部 ※ ホームページ、フェイスブック、ツイッターは随時更新・発信 (イ) インターネット・SNSによる法人紹介と事業等の情報をリアルタイム発信、行事の募集や報告にも活用。</p> <p>2 種別広報 (ア) ふれあいサロン情報等の種別広報発行 (イ) ファンクショナル(実用的な)広報のあり方掲示板へのチラシ掲載 広報誌のテーマは時流に合わせて検討した。</p>		実施日時	通年																		
		対象者	市民全般																		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
61・82	地域配分事業 老人福祉活動事業	継続	共同募金配分金
	歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校、地区の子ども会などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等480人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。	実施日時	12月
	○対象者:80歳以上一人暮らし高齢者等 ○対象者人数:480人(西部:281人、東部199人) ○記念品:①ライフチェックメーター(温湿度計) ②携帯用ポケットファイル ※県社協より無償提供	実施場所	要支援世帯
	ライフチェックメーターを配布することで、熱中症対策の声掛け等に使用できることが期待される。	対象者	80歳以上 独居高齢者等
		人数	480人
		事業費	325千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
62-63	地域配分事業 障害者福祉活動	継続	共同募金配分金
	1 おもちゃ図書館 音楽遊び等を通して交流や体験の積み重ね活動を実施した。 実施回数11回、参加者105人、ボランティア数16人	対象者	市民全般
	2 視覚障がい者情報提供支援事業(音声訳) 社協だより、市広報、議会だよりを音声ボランティアにより毎月音訳し登録者及び図書館等にCDを置いた。また、合志市ホームページでも視聴できるよう掲載した。登録6人、提供6施設	人数	左記記載
		事業費	138千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
52、 65・69	地域配分事業 児童青少年福祉活動	継続	共同募金配分金
	1 児童生徒のワークキャンプ 夏休み期間に小学・中学・高校、それぞれ実施し延べ40人が参加した。	対象者	市民全般
	2 子育てサロン 実施箇所 7か所 対象者 1,268人 関係者 552人 年間実施回数 79回	事業費	1,230千円
	3 自然交流どろリンピック 参加者119名		
	4 あぐりっこくらぶ 実施回数9回 保護者80名 子ども90名 ボランティア84名 計254人		
	5 ボランティア協力校(14校) 生徒数7,930人 ボランティア委員会設置数9校		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
69	ボランティア協力校推進(福祉教育推進)事業	継続	独自事業
	<p>地域の一人として、福祉課題を感じ、考え学び、相手の立場に立った視点や心を醸成する、また小学生または中学生に対し思いやりの心を育み、「地域で支え合う」ことの重要性を感じ、多様性を認め合う地域の基盤づくり、いわゆる社会的包摂に向けた福祉教育を目的とする。</p> <p>○ 小学校…3校(計7回) 延べ838人へ福祉講話と体験学習の実施 ○ 中学校…1校(計5回) 延べ344人へ講話と体験学習の実施 ○ 高等専門学校…1校延べ13人へ福祉講話の実施</p> <p>※内容については認知症サポーターのみならず、車イスや高齢者疑似体験、視覚障害者や高齢者との関わり(ゲストティーチャー)、施設利用者交流、ぽっかぽかサポートの体験等を実施</p>	実施日時	左記記載
		実施場所	各学校
		対象者	1237人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
69	福祉教育推進事業(職場体験等受入れ)	継続	独自事業
	<p>自分達が住む地域で暮らしを支える仕事との関わりを通じて、働く喜びや自分自身の生き方を考えるきっかけとして、また「福祉」の仕事へ興味関心を持ってもらうことを目的に職場体験等の受入れを積極的に行った。</p> <p>体験受入れ学校/人数/日数</p> <p>① 西合志南中学校/4名/3日間 ② 西合志中学校/3名/3日間</p>	実施日時	左記記載
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市内中学生
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
70	福祉教育推進事業(中高生居場所づくり)	継続	
	<p>将来の社会や合志市の担い手となり得る中高生へ福祉や社会貢献活動等を通じた居場所づくり「オモイカタルバ」を実施した。</p> <p>○ 実施回数:計14回 ○ 参加人数(延べ人数):94人 ○ 参加年齢層:小学生(高学年)1人、中学生5人、高校生0人、大学生(専門学生)6人、社会人3人 ○ 活動内容:レクリエーション交流、実行委員を含めたふれあいフェスティバルへの参加・キッズフェスティバル・合志市民まつりでの出店等</p>	実施日時	左記記載
		実施場所	左記記載
		対象者	述べ人数54名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
74 83-88	被災者及び避難行動要支援者支援	継続	独自事業																																										
1	災害ボランティアセンター設置 平成28年熊本地震において、令和元年度も平成30年度は被災者支援の次のステージとして地域支え合いセンターを行政・民間事業所と協働しながら開設・被災者支援を実施	実施日時	左記記載																																										
2	災害時ボランティアセンター設置訓練 10/4(木) 一般市民向け講座/参加18人 講義 …「合志市の防災に関する取り組み」/合志市交通防災課 防災対策監 松本氏 「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンターの役割」 社協 「熊本地震被災後の地域支え合いセンターの取り組み」 合志市地域支え合いセンター(株式会社ぞうさんのはな) 原川氏 10/16(水) 職員向け研修の実施 参加34名 10/27(日) 市防災訓練にあわせた設置訓練/参加35人 ※ボランティアの方々にも運営側として活動(受付班等)いただいた	実施場所	ふれあい館 西合志東小																																										
		対象者	市民全般																																										
		人数	87人																																										
		事業費	224千円																																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
78 76	ボランティア組織支援事業 地域福祉推進啓発事業(福祉イベント推進事業)	継続	独自事業																																										
1	ボランティア連絡協議会 多種多様なボランティアが、それぞれの活動分野から一歩前進してお互いに協力、理解、連携しあうために自主的な活動を行う連絡協議会の活動が円滑に行われるよう協力・支援した。また、交流会に於いて、学生ボランティアとボラ連会長・市長とのボランティアトークを開催した。 役員会10回 ・ボランティア交流会163名・ペタンク交流会52名	実施日時	左記記載																																										
2	ふれあいフェスティバル(ボランティア連絡協議会共催) 市民に社協活動に対する理解をより深めてもらうため、また関係団体相互理解の促進と交流を目的にふれあいフェスティバルを開催した テーマ「笑顔でつなぐ 合志の未来 ～ふれあいで いろいろ 地域のわ～」講演(演題)「人を見るということ～局アナパパ、笑いと涙の体験記」 講師：笠井信輔氏(フリーアナウンサー/参加者約500人)	対象者	市民全般																																										
		参加者	7人																																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
79	地域福祉連絡協議会設置推進	継続	独自事業																																										
	地域の福祉課題や福祉活動の状況の把握、行政や各地協間の連携を推進するため、5つの地域福祉連絡協議会の代表者会議を7月と3月に行った。(3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止)	実施日時	通年																																										
	(構成メンバー)区長、民生委員、老人クラブ、ボランティア、学識経験者等	実施場所	各コミュニティセンター																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>須屋</th> <th>黒石</th> <th>中央</th> <th>野々島</th> <th>合生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数</td> <td>8区</td> <td>8区</td> <td>8区</td> <td>12区</td> <td>10区</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>100人</td> <td>33人</td> <td>74人</td> <td>43人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>7カ所</td> <td>3カ所</td> <td>5カ所</td> <td>4カ所</td> <td>1カ所</td> </tr> <tr> <td>こどもサロン</td> <td>1カ所</td> <td>2カ所</td> <td>1カ所</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交流会回数</td> <td>4回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>訪問活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生	自治会数	8区	8区	8区	12区	10区	会員数	100人	33人	74人	43人	37人	高齢者サロン	7カ所	3カ所	5カ所	4カ所	1カ所	こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	-	-	交流会回数	4回	2回	2回	2回	3回	訪問活動	○	○	○	○	○	対象者	市民全般
項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生																																								
自治会数	8区	8区	8区	12区	10区																																								
会員数	100人	33人	74人	43人	37人																																								
高齢者サロン	7カ所	3カ所	5カ所	4カ所	1カ所																																								
こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	-	-																																								
交流会回数	4回	2回	2回	2回	3回																																								
訪問活動	○	○	○	○	○																																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
80・88	小地域ネットワーク+地域支え合いセンター運営支援	継続	独自事業+委託
<p>(見守りネットワークの状況)</p> <p>住みなれた地域で自立生活を送るためには、地域の福祉問題を解決するためにフォーマル・インフォーマルの資源と連携し活用するネットワークが不可欠になり、近隣住民がボランティア活動を展開していくことが課題となってくる。現在西部地区においては5カ所の地域にて、高齢者や子どもたちのネットワーク活動やボランティア活動を支えるため自主的に組織化している。また東部地区においては地域サロンまたは、ぽっかぽかサポート協力団体等を中心に小地域(行政区)で取り組んでいる。</p> <p>地域支え合いセンターの運営支援も実施(3年目)。行政・民間事業所との三者契約とし、被災者支援を行った。</p> <p>運営会議(職員参加):12回 交流会:1回 みなし仮設入居者:8世帯(2月末時点)</p>		実施日時	通年
		実施場所	各地協・サロン ・行政区等
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
85	避難行動要支援者支援システム	継続	合志市受託事業
<p>地域内の見守り活動を推進しながら、災害等の緊急時に情報を関係機関や団体と共有し迅速に支援活動ができるように、より活用しやすいようなプログラムづくりに取り組みシステムの整備を行った。職員による訪問と併せ、民生児童委員と連携し、要支援者の情報収集に取り組んだ。運用に際しては市・担当課の福祉課と綿密な連携のもと実施した。</p> <p>(整備内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者の台帳管理 登録者1180人 ・新規登録者(安心ほっとライン配布) 61人 ・緊急性が高い要支援者の調査(地震の際の支援者ニーズ調査含む) ・市指定の広域避難所と最寄りの二次避難所に関する調査 ・支援者の登録内容確認 ・安心生活支え愛事業と連動し、基本的な支援ツールとして整備 		実施日時	通年
		実施場所	ふれあい館
		対象者	要支援者 ・サポーター
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
86	地域福祉推進助成(ひとり暮らし高齢者の集い)	継続	独自事業
<p>介護状態に至る要素に閉じこもりがあげられる。一人暮らし高齢者は社会的に孤立状態にあると言われており、また、そのことが閉じこもりを助長させる要因でもある。併せて身体的な衰えなどから外出もおっくうになりがちである。そこで、同じ境遇にある一人暮らし高齢者同士の交流を通じて、なじみの関係をつくり、また、自立生活の助長を目的に本事業を実施した。</p> <p>・西部地区10/7(月)参加者+関係者165人(老人憩の家) ・東部地区10/8(火)参加者+関係者125人(みどり館) (内容)・保育園児との交流・演芸会(民生委員・参加者を交えてのレクリエーション)・食事会、お楽しみ抽選会等</p>		実施日時	10/15(月)西部 11/6(火)東部
		実施場所	老人憩の家 みどり館
		対象者	一人暮らし高齢者(75歳以上)
		人数	290人
		事業費	300千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
83-88	安心生活支え愛事業1:座談会・ニーズ調査等	継続	合志市受託事業
	<p>住み慣れた地域において安心した生活を営むことができるよう、一人暮らし高齢者等への生活支援を目的とした基盤整備を行い、地域で安心して暮らせるための仕組みづくりを実施。中学校区ごとにコーディネーターを配置した。また、ニーズ調査においては、被災者支援である地域支え合いセンターとの協働で調査活動を実施した。座談会の視点も新たに「この街を良くする茶話会」を開催した。</p> <p>支援を必要とする人とそのニーズを把握する活動 (地域福祉座談会及びコミュニティ会議の実施) ・この街を良くする茶話会(各中学校区における民間事業所連携) ①合志第一病院 参加者31人②熊本高等専門学校 参加者27人 ③この街を良くする歌芽(スリースマイル秋桜) 参加者13人 ④地域福祉連絡協議会代表者会議(7/11) 述べ参加者18人 (生活課題を抱える人の実態把握)・生活課題調査 合計412件</p>	事業費	19,065千円
		実施日時	通年
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
89-95	安心生活支え愛事業2:ぽっかぽかサポート	新規	合志市受託事業
1	<p>ぽっかぽかサポート(生活困窮者対策、他事業連携)</p> <p>ぽっかぽかサポートにおいて、生活困窮者支援として安心サポート合志や他部署と連携を図り活動を展開。</p> <p>※令和元年度は0件</p>	事業費	(19,065千円)
2	<p>ぽっかぽかサポート高齢者ゴミだし支援事業</p> <p>市環境衛生課からの委託事業により、燃えるゴミ出しの利用料免除による利用会員の負担軽減を実施</p> <p>実施人数:延べ25名</p>		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
48 89-95	安心生活支え愛事業3:ぽっかぽかサポート、安心ほっとライン	継続	合志市受託事業
	<p>基盤支援を必要とする人々がもれなくカバーされる体制について、「安心生活サポート事業」(通称:ぽっかぽかサポート)の運営継続及び団体登録の推進、登録者の訪問(毎月)等を行った。また、緊急時の見守り体制の強化としてひとり暮らしの高齢者等に「命のボタン」(通称:安心ほっとライン)の配布、設置を引き続き行うとともに、歳末の見守り事業と併せて、ひとり暮らしの対象者の情報更新も実施した(民生委員児童委員との協働)</p> <p>・ぽっかぽかサポート登録(令和2年3月末) 利用会員571人 協力会員409人 団体登録13団体 対応件数(チケットベース) 5,291件 ・ぽっかぽかサポート養成講座含む住民説明:計7回 265人 ・安心ほっとライン配布・設置(新規+更新)1,180件</p>	事業費	(19,065千円)
		実施日時	通年
		対象者	要援護者

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
89-95	安心生活支え愛事業4 生活支援センター設置(ふら〜っとホーム太陽)	継続	独自事業
	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」内に“ふら〜っとホーム太陽”において、新たな相談窓口、また“ぼっかぼかサポート”の地域拠点(出先機関)として、引き続き運営を実施した。具体的には社協地域サポーター(エグゼクティブ・サポーター)リーダーに毎週水曜日10:00~12:00まで、地域住民からの様々な相談に応じるというもの。また、担当地区である合志中学校区の“ぼっかぼかサポート”利用会員に対して「お元気コール」と称し、安否確認やお困りごと相談を電話にて行っている。 菊池郡市の行政書士会ともタイアップし、毎月第一水曜日には合同で「行政書士による相談日」を開設している。 ・お元気コール 389件 ・社協連携件数 14件 ・行政書士相談 8件 ・安心ほっとライン配布数(新規) 86件	事業費	(2,293千円)
		実施日時	毎週水曜日
		実施場所	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」
		対象者	合志南小・南ヶ丘小校区
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
96-101	認知症地域支援体制構築等整備 支援組織化(ささえ愛隊)	継続	合志市受託事業
	養成した認知症サポーターの中から有志で登録をさせていただいた方々を「ささえ愛隊」と名付けて、認知症の方を地域で支える活動を行う。 主な活動としては、徘徊行動による行方不明者が出た際にメール配信を活用し、見守り活動を行ってもらった。また、認知症啓発のための活動(事業所への啓発)や学習会・講演会に実施した。 また、令和元年度より、ささえ愛隊公式LINEアカウントを開設。不明者情報の発信などに活用していく。 ・講演会 9/27(金)ふれあい館 川崎 陽一氏…62名※後期は中止 ・メール登録:553件 LINE登録:139件 ・行方不明情報1件発生、ほか情報メール2,161件・LINE配信646	事業費	(1,945千円)
		実施日時	左記記載
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市民全般
		編成前	生活支援課
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
96-101	認知症地域支援体制構築等整備 ささえ愛ネットワーク模擬訓練、家族支援	継続	合志市受託事業
	認知症に対する正しい理解を促進し、支援の輪と認知症予防に関する知識の普及を目的に研修会及び家族支援を実施した。 医療機関や福祉施設の協力により、医師・看護師・精神保健福祉士等にも参加していただき、身近なところで家族同士の情報交換の場となるつどいを定期的に開催した。 ・家族のつどい 4回、34人 ・認知症カフェ 11回、170人 ・ささえ愛ネットワーク模擬訓練2019(合生コミュニティ) 11/24(日) 154名(うち職員23名、子ども劇団員7名、かせするモン8名、JA5名) 地域における認知症の方への声かけ及び通報の仕方などを訓練	事業費	(1,145千円)
		実施日時	左記記載
		実施場所	ふれあい館 ほか
		対象者	ささえ愛隊 当事者・家族

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
104	合志地区総合相談支援事業(安心生活支え愛事業)	継続	合志市受託事業																														
<p>地域住民のニーズをいち早くキャッチし、多様な相談内容に対応するために、各種団体や関係機関との協力・連携を深めることで地域住民の安心へと取り組んでいく相談支援を実施した。</p> <p>【各種団体・年間相談件数】 ○合志市老人クラブ連合会 … 5,741件 ○合志市身体障害者福祉協議会 … 36件 ○合志市母子寡婦福祉連合会 … 0件 ○オリーブの会 … 167件</p>		事業費	2,293千円																														
		実施日時	通年																														
		対象者	市民全般																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
102-107	認知症予防事業	継続	合志市受託事業																														
<p>脳活生き教室を認知症の予防と学習活動を通じた交流の促進、生きがい作りの場として実施した。また、地域版として脳いきいき教室修了者へ継続的な学習の場を3箇所開設し、地域のより身近な場所で開催する事で、地域で支え合い見守りあえる関係を築ききっかけとなるよう働きかけた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ふれあい館</th> <th>須屋 (地域版)</th> <th>みどり館 (地域版)</th> <th>泉ヶ丘 (地域版)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習者</td> <td>18人 216人</td> <td>18人 245人</td> <td>20人 296人</td> <td>26人 297人</td> </tr> <tr> <td>サポーター</td> <td>21人 256人</td> <td>13人 181人</td> <td>15人 230人</td> <td>12人 199人</td> </tr> <tr> <td>送迎 サポーター</td> <td>3人 26人</td> <td></td> <td>4人 76人</td> <td>3人 534人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数(上段:実人数、下段:延べ人数)</p>		項目	ふれあい館	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)	学習者	18人 216人	18人 245人	20人 296人	26人 297人	サポーター	21人 256人	13人 181人	15人 230人	12人 199人	送迎 サポーター	3人 26人		4人 76人	3人 534人	事業費	2,643千円										
項目	ふれあい館	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)																													
学習者	18人 216人	18人 245人	20人 296人	26人 297人																													
サポーター	21人 256人	13人 181人	15人 230人	12人 199人																													
送迎 サポーター	3人 26人		4人 76人	3人 534人																													
		実施日時	通年																														
		実施場所	左記記載																														
		対象者	65歳以上の方																														
		人数	2,070人																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
111	各種サロン普及事業(体操サロン・趣味活動サロン等)	新規	独自事業																														
<p>サロンが休止している地域や通常サロンとは別で1回でも多く外出する機会を増やし交流、介護予防運動をひとつのきっかけとして、地域の集いの場として開催。総合事業や趣味活動サロンへと繋ぎの役目も担うこととして事業を実施した。今年度、認知症予防に特化した脳活きサロンが2ヵ所立ち上がった。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>上須屋いきいき体操サロン</td> <td>上須屋学習センター</td> <td>11回</td> <td>353名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>榎の本にこここ体操サロン</td> <td>榎の本公民館</td> <td>4回</td> <td>144名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上庄ほのぼの健康サロン</td> <td>上庄公民館</td> <td>16回</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>南原住宅体操</td> <td>南原住宅</td> <td>7回</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>野ばらの会</td> <td>御代志市民センター</td> <td>2回</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>上須屋脳トレサロン</td> <td>上須屋学習センター</td> <td>2回</td> <td>41名</td> </tr> </tbody> </table>		1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	11回	353名	2	榎の本にこここ体操サロン	榎の本公民館	4回	144名	3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	16回	320名	4	南原住宅体操	南原住宅	7回	50名	6	野ばらの会	御代志市民センター	2回	28名	7	上須屋脳トレサロン	上須屋学習センター	2回	41名	実施日時	左記記載
1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	11回	353名																													
2	榎の本にこここ体操サロン	榎の本公民館	4回	144名																													
3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	16回	320名																													
4	南原住宅体操	南原住宅	7回	50名																													
6	野ばらの会	御代志市民センター	2回	28名																													
7	上須屋脳トレサロン	上須屋学習センター	2回	41名																													
		実施場所	左記記載																														
		対象者	述べ936名																														

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
108-112	地域住民グループ支援事業	継続	合志市受託事業																								
<p>地域住民と協働し閉じこもりがちな高齢者を対象に参加しやすい地域内の公民館等に「つどいの場所」を設置することで、仲間づくりと閉じこもり防止や福祉問題の早期発見につなげるなど介護予防効果と住民同士の交流促進から互いに見守り、支えあえる地域づくりを推進するために実施した。</p> <p>また、サロン支援ボランティアの育成を目的に年1回(10月)に健康体操(百歳いきいき体操)についての研修会を実施した。</p> <p>□開催カ所数 48カ所 □開催回数 371回</p> <p>□利用者数 6,665人 □ボランティア 2,963人</p> <p>□地域住民等参加者 723人 □サロン参加者合計 10,938人</p> <p>※人数は延べ人数。 □見守り・訪問回数 15,557回</p> <p>□サロン立ち上げ4件(うち2件は脳活きサロン) □サロン実人数 956人</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、各サロン3月は活動を中止。</p>		実施日時	通年																								
		実施場所	各公民館等																								
		対象者	要支援者含む市民																								
		人数	10,938人																								
		事業費	7,817千円																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
113-117	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	継続	合志市受託事業																								
<p>高齢者がその知識と経験を生かし、希望と能力に応じた生産又は創造的活動に参加することによって、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものにするを目的に実施した。</p>		実施日時	6月～2月																								
		実施場所	左記記載																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>協力施設</th> <th>日数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木工教室</td> <td>黒石市民センター</td> <td>16日</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>木工フォローアップ教室</td> <td>黒石市民センター</td> <td>4日</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>男性の料理教室</td> <td>ふれあい館</td> <td>8日</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>男性の料理フォローアップ教室</td> <td>ふれあい館</td> <td>2日</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>特別教室(スマートフォン使い方講座)</td> <td>熊本高専</td> <td>4日</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>		講座名	協力施設	日数	人数	木工教室	黒石市民センター	16日	135人	木工フォローアップ教室	黒石市民センター	4日	40人	男性の料理教室	ふれあい館	8日	107人	男性の料理フォローアップ教室	ふれあい館	2日	20人	特別教室(スマートフォン使い方講座)	熊本高専	4日	62人	対象者	65歳以上の方
講座名	協力施設	日数	人数																								
木工教室	黒石市民センター	16日	135人																								
木工フォローアップ教室	黒石市民センター	4日	40人																								
男性の料理教室	ふれあい館	8日	107人																								
男性の料理フォローアップ教室	ふれあい館	2日	20人																								
特別教室(スマートフォン使い方講座)	熊本高専	4日	62人																								
		人数	364人																								
		事業費	1,034千円																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
117	各種グループ化推進事業	新規	合志市委託事業																								
<p>高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施講座から、自主グループ(組織化)に向けて働きかけ、助成または活動支援を行った。</p> <p>① 木工やろう会 参加者数:会員 14名、延べ 95名</p> <p>活動内容:生きがいの木工製作に励みながら、木工製作で地域に社会貢献をする。(高齢者や子ども達への木工教室開催や社協主催の木工教室での講師補助)</p> <p>② 男の出前キッチン“かせするモン” 参加者数:会員23名、延べ164名</p> <p>活動内容:料理教室で習った料理を介して、地域でささやかな社会奉仕活動をする。(認知症模擬訓練や地域でのイベントでの料理提供や施設でのランチの提供、地元黒大豆を使用した味噌づくり)</p>		実施日時	通年																								
		実施場所	ふれあい館																								
		対象者	市民(シニア世代)																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
118	男の井戸端サロン協働事業	新規	合志市受託事業
	<p>おおむね60歳以上のシニア世代で、市内在住の男性を対象とし経験や知恵、技を生かして無理なく出来る範囲で楽しく、生きがいを感じるような活動を社協と協働にて行っている。</p> <p>○会員:14名 ○活動回数:108回(延べ人数:817名)</p> <p>(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培・販売、農園での交流活動(保育園・あぐりっこ・社協デイ) ・ぼっかぼかサポート(団体登録) ・市内施設への訪問ボランティア(歌、マジック披露) ・下校時の見守り活動(市内小学校) ・登山、パークゴルフ、お花見など生きがい活動 ・八代市社協からの視察研修対応 	実施日時	通年
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
119	地域の絆づくり推進事業	継続	独自事業
	<p>定年退職前後の方を含む高齢者(次世代橋渡し世代)の地域における社会参加の促進。生涯現役で活躍できる仕組みをつくり、地域活動の担い手を確保するとともに健康寿命の延伸を図ることを目的として実施した。</p> <p>① シニア活動推進プロデューサーの配置</p> <p>② 社会参加入門講座の実施 (珈琲フォローアップ講座・交流会:延べ参加者45人)</p> <p>③ 趣味から地域貢献活動グループ組織化(ブレンド珈琲倶楽部) 14名 活動内容:珈琲講座で習得した淹れ方で、地域や社協のイベントで珈琲のもてなし。市内事業所との協働で、ブレンド珈琲を作り販売する。</p> <p>④ きずな広場の実施(新開地区):参加者131名</p> <p>⑤ あそびの学校(栄地区)実施:86名</p>	事業費	生きがいと健康づくりと合算で
		実施日時	通年
		対象者	市民(シニア世代)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
119-②	地域の絆づくり推進事業②	継続	独自事業
	<p>上記以外の活動も実施。以下掲載。</p> <p>⑥ 各種活動へのマッチング実施</p> <p>⑦ 地域ネットワークの構築(生活支援コーディネーターと協働) 常設の活動拠点“つながる”開設(永江団地区:稲岡宅にて)</p> <p>⑧ 聞き書き冊子製作 さかえ〜隊:参加9名</p> <p>⑨ 聞き書き講座 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止</p> <p>⑩ 西児童館との共同企画 “ボードゲーム交流会”実施:参加者25名</p>	事業費	生きがいと健康づくりと合算で
		実施日時	通年
		対象者	市民(シニア世代)

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																						
120	家族介護者教室	継続	合志市受託事業																																						
<p>高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、また家庭で起こる緊急時の対応や福祉制度等の基礎知識や技術を習得させるための家族介護教室(以下「教室」という。)を開催した。</p> <p>講座Ⅰ《8月5日》『基本動作介助について(車椅子動作含む)』 講座Ⅱ《8月19日》あわてない!あなたにできる緊急時の対応 講座Ⅲ《9月2日》『お口の健康について』 フォローアップ 《令和2年2月27日》 ※新型コロナウイルス拡大防止の為中止</p>		事業費	568千円																																						
		実施場所	みどり館 ふれあい館																																						
		対象者	介護者・一般																																						
		人数	延べ68人																																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																						
122	合志市総合相談事業	継続	合志市受託事業																																						
<p>地域住民の日常生活上の様々な悩みや相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉の増進を目的に総合相談を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談項目</th> <th>件数</th> <th>割合</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 財産</td> <td>105件</td> <td>38%</td> <td>遺言、遺産相続、登記など</td> </tr> <tr> <td>2 離婚</td> <td>35件</td> <td>13%</td> <td>離婚条件、手順、養育費など</td> </tr> <tr> <td>3 法律</td> <td>26件</td> <td>10%</td> <td>保証人、養子縁組など</td> </tr> <tr> <td>4 家族</td> <td>16件</td> <td>6%</td> <td>夫婦、親子、嫁・姑、扶養など</td> </tr> <tr> <td>5 上記以外</td> <td>91件</td> <td>33%</td> <td>生計、住宅、職業・生業など</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>273件</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>会場別件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>御代志市民センター</th> <th>みどり館</th> <th>泉ヶ丘市民センター</th> <th>ふれあい館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談者数</td> <td>147人</td> <td>109人</td> <td>33人</td> <td>47人</td> </tr> </tbody> </table>		相談項目	件数	割合	備考	1 財産	105件	38%	遺言、遺産相続、登記など	2 離婚	35件	13%	離婚条件、手順、養育費など	3 法律	26件	10%	保証人、養子縁組など	4 家族	16件	6%	夫婦、親子、嫁・姑、扶養など	5 上記以外	91件	33%	生計、住宅、職業・生業など	合計	273件	—		会場	御代志市民センター	みどり館	泉ヶ丘市民センター	ふれあい館	相談者数	147人	109人	33人	47人	実施日時	毎月3回 1日、10日、2
相談項目	件数	割合	備考																																						
1 財産	105件	38%	遺言、遺産相続、登記など																																						
2 離婚	35件	13%	離婚条件、手順、養育費など																																						
3 法律	26件	10%	保証人、養子縁組など																																						
4 家族	16件	6%	夫婦、親子、嫁・姑、扶養など																																						
5 上記以外	91件	33%	生計、住宅、職業・生業など																																						
合計	273件	—																																							
会場	御代志市民センター	みどり館	泉ヶ丘市民センター	ふれあい館																																					
相談者数	147人	109人	33人	47人																																					
		対象者	市民全般																																						
		件数	273件																																						
		事業費	764千円																																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																						
—	ボランティアセンター運営事業	継続	独自事業																																						
<p>1 コーディネーター設置</p> <p>地域のボランティア活動状況などを把握し、活動の継続や発展などを支援する視点でその促進に努めた。また、ボランティア活動に携わる人の知りたいと思っている情報を個別的に提供するという視点からセンター事業を進めるとともに、安心して活動できるようボランティア活動保険の加入促進を実施した。</p> <p>(ボランティアセンター・体験活動情報センター相談件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 240件 ・調整回数 486回 		実施日時	通年																																						
		実施場所	ふれあい館																																						
		対象者	市民全般																																						
		事業費	637千円																																						

番号	事業の名称					新規・継続	事業形態																				
—	ボランティアセンター運営事業 ボランティア普及推進事業					継続	独自事業																				
2	ボランティア地域活動支援 (ボランティア登録人数) ・個人登録者 85人 ・団体登録 94団体1,358人 (ボランティア活動保険加入状況)					実施日時	通年																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Aプラン</th> <th>Bプラン</th> <th>天災A</th> <th>天災B</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,074人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>8人</td> <td>1,122人</td> </tr> </tbody> </table>					Aプラン	Bプラン	天災A	天災B	合計	1,074人	20人	20人	8人	1,122人	対 象 者	市民全般										
Aプラン	Bプラン	天災A	天災B	合計																							
1,074人	20人	20人	8人	1,122人																							
						人 数	1,439人																				
						事 業 費	637千円																				
3	3 機材貸付 地域住民が行う福祉活動の円滑な推進と、地域への福祉啓発・広報活動を行うため、活動用品の整備を図り広く貸与を行った。 ・総貸出件数114件(体験・地域イベント用具、レクリエーション用品等)																										
番号	事業の名称					新規・継続	事業形態																				
—	ボランティアセンター運営事業 ボランティア普及推進事業					継続	独自事業																				
	ボランティア年間活動実績(登録ボランティアへ任意で活動調査) ※団体については、高齢者サロンの見守り活動も回数に含む					実施日時	通年																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>延べ活動時間</th> <th>延べ参加人数</th> <th>回収数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人</td> <td>2,961回</td> <td>4,077時間</td> <td>2,961人</td> <td>35/85</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>18,100回</td> <td>36,342時間</td> <td>12,559人</td> <td>84/94</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,061回</td> <td>40,419時間</td> <td>15,520人</td> <td>119/179</td> </tr> </tbody> </table>						回数	延べ活動時間	延べ参加人数	回収数	個人	2,961回	4,077時間	2,961人	35/85	団体	18,100回	36,342時間	12,559人	84/94	計	21,061回	40,419時間	15,520人	119/179	対 象 者	市民全般
	回数	延べ活動時間	延べ参加人数	回収数																							
個人	2,961回	4,077時間	2,961人	35/85																							
団体	18,100回	36,342時間	12,559人	84/94																							
計	21,061回	40,419時間	15,520人	119/179																							
						人 数	1,443人																				
番号	事業の名称					新規・継続	事業形態																				
—	日本赤十字社会員(協力会員)の募集					継続	その他の事業																				
	日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために、国境を越えた災害救護活動や血液事業など幅広い活動を展開している。このような活動を支えている会費(活動資金)を募集するために5月を「赤十字運動月間」として、会員及び協力会員募集を、本会が窓口となり業務を行った。					募集実績	5,253千円																				
						実施日時	5月																				
						対 象 者	市民及び事業所																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>件 数</th> <th>実 績 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協 力 会 員</td> <td>4,532件</td> <td>2,269,000円</td> </tr> <tr> <td>会 員</td> <td>10件</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>法 人 会 員</td> <td>4件</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寄 付 金</td> <td>区</td> <td>28区</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>2,676件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>5,253,650円</td> </tr> </tbody> </table>					種 別	件 数	実 績 額	協 力 会 員	4,532件	2,269,000円	会 員	10件	20,000円	法 人 会 員	4件	40,000円	寄 付 金	区	28区	個人	2,676件	合 計	—	5,253,650円		
種 別	件 数	実 績 額																									
協 力 会 員	4,532件	2,269,000円																									
会 員	10件	20,000円																									
法 人 会 員	4件	40,000円																									
寄 付 金	区	28区																									
	個人	2,676件																									
合 計	—	5,253,650円																									

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
一	赤い羽根共同募金募集事業	継続	その他の事業																											
<p>募金活動の更なる活性化を目指し、中央共同募金・企画推進委員会の答申を受け、全国的な流れとして「共同募金委員会」を設置した。</p> <p>赤い羽根共同募金の募集を合志市共同募金委員会が実施し、本会が事務対応を行った。本年度は、合志市独自目標額(6,960,000円)に対し、98.9%の実績にとどまった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,524件</td> <td>5,164,210円</td> </tr> <tr> <td>個人募金</td> <td>6件</td> <td>60,939円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>131件</td> <td>999,279円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>1件</td> <td>10,034円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>8件</td> <td>322,426円</td> </tr> <tr> <td>イベント募金</td> <td>11件</td> <td>63,410円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>45件</td> <td>263,823円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,726件</td> <td>6,884,121円</td> </tr> </tbody> </table>		募金種別	件数	実績額	戸別募金	10,524件	5,164,210円	個人募金	6件	60,939円	法人募金	131件	999,279円	学校募金	1件	10,034円	職域募金	8件	322,426円	イベント募金	11件	63,410円	その他	45件	263,823円	合計	10,726件	6,884,121円	実施日時	10月～12月
募金種別	件数	実績額																												
戸別募金	10,524件	5,164,210円																												
個人募金	6件	60,939円																												
法人募金	131件	999,279円																												
学校募金	1件	10,034円																												
職域募金	8件	322,426円																												
イベント募金	11件	63,410円																												
その他	45件	263,823円																												
合計	10,726件	6,884,121円																												
		対象者	市民及び事業所																											
		目標額	6,960千円																											
		募金実績	6,884千円																											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
	ボランティアスクール	新規																												
<p>これからの地域社会づくりの担い手である児童および学生を対象に、ボランティア体験を通してボランティア活動への関心、更には福祉に対する理解を深め、地域におけるボランティアリーダーを育成する。</p> <p>○実施日:①令和元年6月17日(月) /「ボランティアってなに？」 ②令和元年9月5日(水) /「自分たちができること」 ③令和元年11月11日(月) /「地域のお困りごとマッチング」 ④令和元年11月30日(土) /「実際に活動してみよう」 ⑤令和2年2月17日(月) /「振り返り・報告会」 ⑥令和2年2月8日(土) /ボランティアトーク</p> <p>○参加者:合志中学校ボランティア委員 ○参加者数:延べ:344人</p>		実施日時	左記記載																											
		対象者	左記記載																											
		人数	344人																											
		事業費																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
	脳の健康教室『脳・健・定』	新規																												
<p>65歳以下の一般市民を対象にファイブ・コグ(高齢者用集団認知検査)を実施し、自分の認知機能を図る機会づくりと新たな認知症予防サポーターを養成する。</p> <p>○実施日:①令和2年1月29日(水) /ファイブ・コグの実施 ②令和2年2月12日(水) /ファイブ・コグ検査結果説明</p> <p>○対象者:合志市在住の65歳以下の方 ○参加者:延べ24人</p>		実施日時	左記記載																											
		対象者	左記記載																											
		人数	24人																											
		事業費																												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態			
-	地域包括支援センター西部総合相談窓口業務	継 続	合志市受託事業			
地域包括支援センターの旧西合志地域総合相談窓口業務。 困難事例増加にともない、下半期は訪問が増加した。 【年間相談件数】		実施日時				
	訪問	来所	電話	連絡調整	対 象 者	高齢者
上半期(件)	72	21	138	345	件 数	1,080件
下半期(件)	143	22	84	255	事 業 費	5,499千円



合志中ボランティアスクールのぽっかぽかサポート体験活動



この街を良くする茶話会（合志第一病院にて）

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
地域福祉課 こども支援センター班		14	30	44
		人	人	人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

共働き家庭、ひとり親家庭の増加、転入者の多い地域であることをふまえた子育て支援事業及び健全育成事業に取り組んだ。

(1) 地域子育て支援センター

- ・家庭保育をしている親子が孤立しないように、仲間づくり、情報交換のできるつどいの場、異世代交流の場として事業を実施した。また、育児相談、講習会を開催することで、子育ての不安軽減や親子のきずなを深める機会となった。また、虐待予防、保護者の精神的な疲労など早期発見に努めた。
- ・子どもの発達段階にあわせたプログラムや、障がいを持つ子どもの家庭が気軽に参加でき、木のおもちゃや色々なおもちゃに触れる機会をボランティアの協力により実施することができた。また、ボランティア確保への啓発にもつながった。

(2) 児童館事業

- ・親子(家族)活動として、野外活動や農作業体験の「あぐりっこ」などを実施し、地域の方から生きる力を学びながら交流の機会をもつことができた。
- ・児童館内に常時職員を配置し、利用者からの様々な相談に対応できるような職員体制も整い職員のスキルアップにも繋がった。
- ・3月の行事はすべて中止し環境整備、おもちゃ等のアルコール消毒を実施し感染防止に努めた。

(3) 放課後児童健全育成事業

- ・デイサービスとの交流事業では、高齢者へのやさしさや思いやりの心を育むことができるように、また戦争体験を聞き、平和や命の尊さを考える機会となった。また、支援員の資格取得者が増え、安定した学童保育が行えるようになった。
- ・キッズクラブに手洗い場を設置し、手洗い、うがいの指導を行い児童の健康管理に努めた。
- ・コロナウイルス感染症防止のため3月が休校となり長時間の預かりとなり、手洗いうがいの徹底を図りながら環境整備として、時間を決めてアルコール消毒、換気を行い感染予防を徹底した。

(4) 病児・病後児保育

- ・インフルエンザの預かりに於いては、37.5度以下が24時間経過している児童の預かりとし、より安全な保育看護が行えるように取り組んだ。

(5) ファミリーサポート事業

- ・利用会員だった方が子供の成長と共に今後は子育ての応援をしたいという思いから、養成講座を受講されたことで会員増へ繋がった。

(6) 長期休暇等児童預かり事業

- ・夏休みの預かりは希望者が多く抽選になり、一人も多くの子どもの預かりができるように、以前の利用者を通常の学童で受入れの対応を行った。
- ・春休みはコロナウイルス感染症防止の対策として、3密を避けるためにふれあい館を利用し通常の学童とは分けての預かりを行うことで、対応ができた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) ファミリーサポート事業では、障がいを持つ子どもの依頼が増加しており、担い手のなる協力会員の確保が課題であるため、養成講座に研修を取り込んでいく必要がある。

3 今後の方向性

- (1) 子育て家庭が抱える多様な悩みや相談、育児不安の軽減に対応し、虐待等への早期対応ができる体制に努め関係機関との連携を図る。
- (2) 子育て支援のニーズを把握し、地域の中での人材、資源を活用した育児支援を進め、子ども、親が育ちあえるような環境づくりに取り組む。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
125 126	子育て広報促進事業(相談含む)	継続	合志市受託事業															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>育児不安などの身近な相談の窓口として、登録、受付、相談コーナーを設置し、情報提供するとともに情報誌の発行を行った。合志市保健師の赤ちゃん訪問事業と連携し、こども支援センター事業の一覧チラシ配布を行う。妊婦さんへ周知のため、母子手帳配布の際、あそびのへや・BPプログラムのチラシを配布し周知促進を図った。</p> <p><実績数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援センターだより・ほっとライン・・・毎月1回発行 ・ホームページ 常時掲載・更新 ・こども支援センターチラシ配布 毎回赤ちゃん訪問 <p><相談実績数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所相談、コーディネート 4,560 件・電話 972 件 		事業費	地域子育て支援事業 8,445千円															
		実施日時	月～土															
		実施場所	ふれあい館															
		対象者	妊婦、子育て世帯															
		人数	相談数5,532件															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
127	あそびのへや(0歳～3歳)	継続	合志市受託事業															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>同年齢の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てることを目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。年齢ごとに開催することで、子育ての悩みも共有しやすく、悩みや不安の軽減につながっている。今年度はあか組(0歳児)で、ボランティアさんによるおはなし会を第3水曜日に実施し、絵本等への興味・関心が保護者共に高まり、参加人数が増えている。</p> <p><利用実績> ボランティア:9回 23名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施日</th> <th>実施回数</th> <th>保護者</th> <th>こども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あか組(0歳)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>42回</td> <td>452名</td> <td>452名</td> </tr> <tr> <td>もも組(1.2歳)</td> <td>第1・第3月曜</td> <td>25回</td> <td>89名</td> <td>92名</td> </tr> </tbody> </table>		区分	実施日	実施回数	保護者	こども	あか組(0歳)	毎週水曜日	42回	452名	452名	もも組(1.2歳)	第1・第3月曜	25回	89名	92名	事業費	地域子育て支援事業
		区分	実施日	実施回数	保護者	こども												
		あか組(0歳)	毎週水曜日	42回	452名	452名												
		もも組(1.2歳)	第1・第3月曜	25回	89名	92名												
		実施日時	毎週水曜、第1・3月曜 10時30分～11時30分															
実施場所	ふれあい館																	
対象者	0歳～2歳																	
人数	自由参加 参加総数1,108名																	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
128	子育て社会体験事業	継続	独自事業															
<p>(事業の内容及び実績)</p> <p>就園前の子どもとその親が、公共の場所への外出などを通して、集団の中での様々な経験や自然体験をすることで社会性や感性を育てることを目的に実施した。</p> <p>○わっこくらぶ野外活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1回 ・参加者数 保護者 19 名、こども 23 名 <p>○わっこくらぶ卒館遠足(熊本市動植物園)はコロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止</p>		事業費	地域子育て支援事業															
		実施日時	随時															
		実施場所	中央運動公園															
		対象者	就園前の親子															
		人数	参加者総数42名															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																			
128	わっこくらぶ	継続	合志市受託事業																																			
(事業の内容、実績) 親子の集まりを毎週実施し、家庭保育中の親子の閉じこもりを予防、保護者のつながりができるようなきっかけづくり、育児相談、地域の子育て関連の情報提供などを行った。活動はプログラム制とし、季節に合わせた様々な体験や音楽あそび、発達に応じた運動遊びなどができるように実施し、参加しやすい内容から自由に選ぶことができるよう配慮した。今年度は5週目にみどりぐみの学年(2歳児)を対象として活動を行った。		事業費	地域子育て支援事業																																			
		実施日時	毎週木曜日																																			
		実施場所	ふれあい館																																			
<利用実績> ・実施回数 42回 ・参加人数 保護者 794名 こども 985名		対象者	就園前の親子																																			
		人数	登録あり自由参加 参加総数 1,779名																																			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																			
128 135	地域子育て文化交流事業	継続	独自事業																																			
(事業の内容、実績) 乳幼児を持つ親子が気軽に音楽に触れる機会や、文化的体験に参加して子育ての負担感をなくし子どもと一緒に楽しむ機会を地域住民の協力により実施した。		事業費	地域子育て支援事業 共同募金 他																																			
		実施回数	6回																																			
		実施場所	ふれあい館																																			
		対象者	就園前の親子																																			
		延利用数	222名																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>こども</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリスマス交流音楽祭</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>音楽会</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>もちつき</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>ミュージックケア</td> <td>1</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td>1</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>茶話会</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>		内容	回数	保護者	こども	合計	クリスマス交流音楽祭	1	14	15	29	音楽会	1	17	22	39	もちつき	1	10	15	25	ミュージックケア	1	23	27	50	おはなし会	1	23	31	54	茶話会	1	10	15	25		
内容	回数	保護者	こども	合計																																		
クリスマス交流音楽祭	1	14	15	29																																		
音楽会	1	17	22	39																																		
もちつき	1	10	15	25																																		
ミュージックケア	1	23	27	50																																		
おはなし会	1	23	31	54																																		
茶話会	1	10	15	25																																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																			
129	障がいをもつこどもの支援	継続	共同募金配分金																																			
(事業の内容、実績) 発達に心配のある児童が、音楽や遊び(運動・おもちゃ)を通して心の安定をはかり、身体機能の発達を促すと共に、仲間との関係づくりを行っていくことや同じ悩みを持つ親同士の情報交換、学習会の場を目的に実施した。専門知識を持ったボランティアの協力を得ながら取り組み、療育への足がかりとなるように実施した。今年度は、特別企画を行ったところ新規利用の獲得にもつながった。		事業費	障害者福祉活動費																																			
おもちゃ図書館		実施日時	毎月第3土曜日 年間計画による																																			
○音楽くらぶ 実施回数 11回 ・保護者21名 子ども61名・ボランティアその他 39名		実施場所	ふれあい館																																			
○木のおもちゃ 実施回数 1回 保護者 7名 こども 15名 ボランティアその他 7名		対象者	障がいもつ子どもと 保護者																																			
○ひかりの会(障がい児の親のサロン)・実施回数 4回		人数	170名																																			
・参加人数 保護者41名 こども 3名 その他(講師・一般)5名																																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
129	にこにこツインズ(ふたごちゃんのつどい)	継続	合志市受託事業																
(事業の内容、実績) 同じ悩みをもつ家族同士の集いの場を提供し、仲間づくりや情報交換をしながら、育児不安を解消する力を育むことを目的に開催した。子育てについての体験を互いに話すことで、自分の子育てに生かすことができ、ピアカウンセリングの効果もみられる。また、‘にこにこツインズサポーター’に託児等の協力をいただくことで、安心して参加できる時間となっている。		事業費	地域子育て支援事業																
<利用実績> 実施回数 5回 参加人数 保護者 33名 こども 54名 ボランティア 20名		実施日時	原則奇数月 第2月曜日10時半～12																
		実施場所	ふれあい館																
		対象者	多胎児をもつ保護者 (妊婦も含む)																
		人数	自由参加 参加総数107名																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
130 131	講習会の実施	継続	合志市受託事業																
(事業の内容、実績) 育児不安の解消や親子の愛着を深めることを目的に各種講習や年齢に合わせた保育講座を実施した。		事業費	地域子育て支援事業																
○離乳食教室 実施回数 2回 ・参加者 保護者 9名、こども 9名 講師・ボランティア 2名		実施日時	年数回																
各講座実施回数 1回		実施場所	ふれあい館																
○親子体操教室・参加者 保護者 9名 こども 13名 講師 1名 ○消防署による救急法・参加者 保護者16名 こども 18名 講師 3名 ○パパのためのタッチケア 保護者 12名 こども 6名 講師 1名		対象者	各時期にあった親子 とボランティア																
		人数	99名																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
132	BP(親子の絆づくりプログラム事業)	継続	合志市受託事業																
(事業の内容、実績) 初めて子育てをする親子が集まり、育児の喜びや困りごと、親としての迷いなどを話し合いながら、親育ちのプログラムにより0歳時期に知っておきたい子育てに必要な知識を学び、自分にあった子育てについて考え、悩みの解決・まわりの助けを得ることに気づくことにつなぐ。また、あかぐみへの参加につながった。周知には、2ヶ月訪問時に市役所保健師に協力得て、チラシの配布を行うことができた。また、市内小児科での配布掲示を依頼した。		事業費	地域子育て支援事業																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5月</th> <th>9月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>46</td> <td>24</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>			5月	9月	1月	開催日数	4回	4回	4回	保護者	46	24	36	子ども	46	28	36	実施日時	年3回(5/9/1月)
			5月	9月	1月														
開催日数	4回	4回	4回																
保護者	46	24	36																
子ども	46	28	36																
		実施場所	ふれあい館																
		対象者	2～5ヵ月までの親子 1回10組～12組																
		参加者数	216名																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
133	子育てサロン事業	継続	その他の事業																																																
<p>(事業の内容、実績) 地域のボランティア、民生委員の方が中心となり、支えあい安心して子育てができるような地域を目指して開催した。最近では、地域とつながりをもちたい保護者も増加傾向にあり、サロン参加者が就園後にボランティアとしての活動の場につながっている。</p> <p><利用実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サロン名</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>子ども</th> <th>ボランティア</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばおぞう(笹原)</td> <td>11</td> <td>118</td> <td>135</td> <td>76</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>ひよこサロン(東須屋)</td> <td>8</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>コアアサロン(武蔵野台)</td> <td>11</td> <td>33</td> <td>40</td> <td>32</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>サロン愛 (南須屋)</td> <td>9</td> <td>124</td> <td>146</td> <td>101</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>パンダサロン(杉並台)</td> <td>11</td> <td>57</td> <td>71</td> <td>74</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>こぐまサロン(新開)</td> <td>10</td> <td>75</td> <td>84</td> <td>62</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>めだかサロン(若原)</td> <td>11</td> <td>64</td> <td>82</td> <td>98</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table>		サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計	ばおぞう(笹原)	11	118	135	76	329	ひよこサロン(東須屋)	8	30	35	51	116	コアアサロン(武蔵野台)	11	33	40	32	105	サロン愛 (南須屋)	9	124	146	101	371	パンダサロン(杉並台)	11	57	71	74	202	こぐまサロン(新開)	10	75	84	62	221	めだかサロン(若原)	11	64	82	98	244	事業費	各サロンの助成金 270,180円(共同募金)
サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計																																														
ばおぞう(笹原)	11	118	135	76	329																																														
ひよこサロン(東須屋)	8	30	35	51	116																																														
コアアサロン(武蔵野台)	11	33	40	32	105																																														
サロン愛 (南須屋)	9	124	146	101	371																																														
パンダサロン(杉並台)	11	57	71	74	202																																														
こぐまサロン(新開)	10	75	84	62	221																																														
めだかサロン(若原)	11	64	82	98	244																																														
		実施日時	月1回程度、7か所																																																
		実施場所	公民館等																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用人数	1,588名																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
135	地域子育てふれあい交流事業	継続	独自事業																																																
<p>(事業の内容、実績) 乳幼児から高齢者、障がいを持った方や地域の方、ボランティア、民生委員児童委員などとの交流を促進した。</p> <p>孤立しがちな核家族の親子が異世代の交流を通してつながりを持ち、大切なことの伝承や人とふれあうことで、互いに理解を深め、支えあう地域づくりを目的に実施した。</p>		事業費	地域子育て支援事業																																																
		実施日時	随時																																																
		実施場所	ふれあい館 このみ坂保育園																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用数	187名																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
136・137	児童センター設置運営事業	継続	合志市受託事業																																																
<p>(事業の内容、実績) 地域の子どもたちが健全な遊びを通じて、健康や体力を増進し、情操を豊かにしていくための施設として設置・運営した。</p> <p>ゆうぎしつ・あそびにわ・ランチスペースの開放、児童図書の設置、おもちゃの貸出・管理、利用者登録管理、子育て支援の情報提供と相談、安全点検管理を行った。今年度は、市外からの来館者が少なかった。また、2月末より新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため休館となった。</p> <p><開設日数>286日 <開設時間>午前8時30分～午後5時15分(日曜日は、9時開館) <新規登録>子ども 1,232名 保護者・大人 1,023名 <利用者数>幼児 5,725名 小学生 207名 中学生・高校生 100名 保護者・大人 4,256名</p>		事業費	児童センター事業 5,000千円																																																
		実施日時	月曜日～日曜日(休館:祝日・年末年始・第4月曜)																																																
		実施場所	ふれあい館																																																
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族																																																
		人数	12,543名																																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136・139・143	児童厚生員の設置事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 遊びや生活を通して健全育成を行うとともに、子どもや保護者が抱えている課題に対応し関係機関に繋いだ。また、母親クラブ等の地域組織の育成及び支援を行った。平日に行う『ちょこっとタイム』では、読み聞かせや手遊びを行い親子のふれあいタイムとなり定着している。今年度は、地域福祉班の絆づくり事業との合同企画で、異世代交流を図った。 <利用者数> ○文化交流行事・地域の方や異世代の方との交流行事 (フルーツコンサート、クリスマス交流音楽祭、とり+かえっこ、ボードゲーム・アートであそぼう) 589名 ○月曜日～金曜日(木曜日を除く)“ちょこっとタイム”として、読み聞かせ・体操、手遊び・ふれあい遊び等を行い、子育て相談を実施。 2,482名 ○西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)では、サークル活動運営・入会に関する相談支援等を実施。 210名 ○月1回の避難訓練(火災・地震・不審者対策) 105名		事業費	児童センター事業
		実施日時	開館日:月曜日～日曜日 286日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	3,386名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
140 145	親と子の食事セミナー自然体験活動事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの栄養・食を通じた心の健全育成や、家族団らんの食事の楽しさ等を学ぶため、食事に関する講習会を行うとともに、親子や親同士の交流事業を実施した。たんぼでどろんこ遊び後、食生活改善推進委員の協力により、おにぎりを食べお米の大切さを伝えた。アウトドア活動では地域の方を講師に『生きる力』の技学んだ。あぐりっこクラブでは、男の井戸端サロンの協力によりほぼ1年を通して農作業を行った。また、各自で大根を種から育て収穫し漬物にする活動や梅干し作りにも挑戦し食への意識を高めた。 <利用者数> たんぼであそぼう!どろんこピック2019 67名 たけのこ掘り 25名 ネイチャーゲーム&まきまきパン 19名 レッツクッキング 25名 春のディキャンプ コロナウイルス感染拡大防止のため中止 あぐりっこくらぶ 255名(幼児91名 大人80名 ボランティア84名)		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日・長期休暇中
		実施場所	ふれあい館、たんぼ、ふれあい農園
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	391名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
141・143 149	夏休み児童館特別企画	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 夏休み期間を活用し、主に幼稚園以上の親子や年長児を対象として、地域の方を講師に、この時期にしかできない体験を行うことにより、感性を高め、仲間づくりや児童の健全な育成を図ることを目的に実施した。 キッズクラブ利用の児童による絵本読み聞かせや行事の手伝いなど交流を行った。 <利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 89名 レッツクッキング 25名 キッズフェス 354名 キッズクラブ交流 32名		事業費	児童センター事業
		実施日時	夏季休暇中
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	500名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
142	児童福祉週間特別事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 児童福祉週間に伴い、児童の健全育成や親子・地域のふれあい交流の啓発を目的として開催。標語や来館者による子どもへのメッセージの掲示を行った。地域のボランティアの方と共に、ふれあい館玄関外に多くのこいのぼり掲揚を行った。児童福祉週間中に『かけっこ教室』も開催した。		事業費	児童センター事業
<利用者数> かけっこ教室 20名		実施日時	5月5日～11日
		実施場所	ふれあい館 元気の森
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	20名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
146	体力増進活動	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 運動やスポーツを通して心と身体の健康づくりや意欲向上を図る。児童やその家族が健康・体力活動に取り組むことによって、家庭での健康づくりを推進するために事業を実施した。『うんどうあそび』は、専門職員の指導により、遊びの中で体力増進に努めた。 地域のお父さんの協力のもと、運動会前に『かけっこ教室』を開催することができ、昨年よりおおくの参加があった。		事業費	児童センター事業
<利用者数> かけっこ教室 20名 ちょこっとタイム『うんどうあそび』 97名		実施日時	土曜日 毎月1回
		実施場所	ふれあい館 元気の森
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	117名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
147	子育てサークル育成事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの社会性を育むための交流活動や保護者同士の情報交換、学習会、食育などを行う子育て中の親子が自主的に集まるグループ育成に努め、地域の「子育て力」を高め、共に育ち合う豊かな子育てを応援する事を目的として事業を実施した。活動が円滑に行われるために助成金の整備、場所の提供、活動内容の相談及び協力、会員の紹介等を行った。また、キッズフェス・ふれあいフェスティバルでは児童館行事の手伝いや手作りマルシェの出店協力もあり売上金の一部を共同募金に募金する活動に繋がっている。子育て支援サークルとして1団体が加わった。		事業費	各サークル助成金 60千円(共同募金)
<利用実績> ○アリスくらぶ(就学前親子) 遊びを通して親子で仲間作り。子育ての悩みや情報交換をしながら互いに育ちあう。 ○クッキングママ(就園前の親子と子育て中の親) 食育を通して仲間作り ○ハートサロン(子育て支援サークル) 子育て親子の育児サポート		対象者	3団体
		実施場所	ふれあい館
		対象者	就学前親子
		延べ参加数	1,439名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
148 149	年長児(小学生年長児・中高生)等来館促進事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 音楽やスポーツ等を通して、同世代の交流・情報交換ができることを目的に居場所づくりを促進した。恒例の赤ちゃんふれあい交流では、赤ちゃんや保護者と関わり命の大切さや親への感謝、自己肯定感を高め将来の子育ての貴重な体験とし虐待予防につなげることを目的に開催した。また、中高生の居場所づくりでは、ドラムレッスン教室を開催。今年度は、地域の夏祭りに初めて参加した。卓球利用が多く、安全に活動できるよう配慮している。		事業費	児童センター事業
<利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 89名 卓球スペースの貸し出し 98名 中高生居場所づくり 160名 ドラムレッスン 17名		実施日時	延長児童館 土曜日 午後2時～5時
		実施場所	このみ坂保育園音楽スペース児童館
		対象者	小学年長児～ 高校生
		人数	364名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150	ファミリーサポートセンター事業 コーディネーターおよびアドバイザーの設置	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 核家族化や都市化の進展により、家族や現行の保育サービスでは応じきれない保育ニーズを補完し、仕事と育児の両立を支援するために会員登録制による組織化を行った。会員相互による育児の援助活動の調整等を行うコーディネーターの設置により、保育ニーズに合わせた協力会員のコーディネートを柔軟に対応し、市役所(子育て支援課・保健師)、保育所や医療機関など子育て支援関連機関との連絡調整を行い、サポートセンター活動を展開した。南ヶ丘福祉支援センターに支所機能を置き、若い世帯増加がみられるため、合志地区でも対応できるようにした。		事業費	16,673千円
<活動時間> 6時～22時 <利用料金> 月～金 7時～20時 700円、 早朝・夜間・土・日・祝日800円 ※市内在住の方は市が半額助成 <広報>ファミサポ通信		実施日時	月曜日～土曜日 8時30分～17時30分
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生(障がいをもつ18歳)の保護者
		人数	会員総数1,523名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
151	ファミリーサポートセンター事業 会員登録及びサービス利用の促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 必要とする方に周知するため、保育所や市内医療機関にサービスの説明やチラシの設置協力を行った。 また、産褥期や多胎児を育てる家庭の家事支援についての相談対応を継続し、育児不安に対応を行った。		事業費	ファミリーサポートセンター事業
<会員登録数>・利用会員1,072名・協力会員329名 ・両方会員122名		実施日時	活動時間 6時～22時
<利用状況>・活動件数1,782件・活動時間 5,746時間 ・月平均件数 149件		実施場所	ふれあい館
<利用内容>・保育所等の登園前や帰宅後預かり及び送迎 366件 ・保護者講習会の参加や多胎児支援 362件 ・保護者の短時間及び臨時的就労 349件 ・子どもの習い事等の場合の援助 251件		対象者	0歳～小学校6年生 (障がいをもつ18歳) 保護者
		人数	会員総数1,523名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152-156	ファミリーサポートセンター事業 会員養成講習会および交流会の開催	継続	合志市受託事業
<p><養成講座> ファミリーサポートの周知と理解、新規会員の獲得と資質向上のために開催。より安全に安心して援助活動が行えるよう、24時間以上の受講を推進した。</p> <p>11日間 25時間 参加延べ数 249名</p> <p><交流会> 会員の親交を深めるとともに、会員の情報交換の場を目的に年3回開催した。</p> <p>7/12(金) ミニ交流会 参加者16名 (内容)自己紹介、事業紹介、茶話会 預かる側の協力会員・両方会員のフリートーク</p> <p>9/29(日) 全体交流会 参加者 91名 (内容)活動報告、劇団さんぽ公演</p>		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	全13日間
		実施場所	ふれあい館、南ヶ丘福祉支援センタ
		対象者	登録会員及び会員になりたい方
		人数	参加総数 356名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
155	緊急サポートネットワーク事業 深夜・お泊り支援の実施	継続	合志市受託事業
<p>(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない お泊り保育を補うことで、より充実した援助活動を実施した。24時間対応携帯電話により緊急時の相談に対応した。</p> <p><利用料金> 小学生 4,000円 3歳～就学前 5,000円 3歳未満 6,000円 ※市が半額助成、その他実費負担あり</p> <p><会員登録数> ・利用会員 332名 ・協力会員 103名 総数435名</p> <p><利用状況> ・緊急サポート(泊まり支援)活動 30件</p>		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	20時～翌8時
		実施場所	原則 協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員435名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
156	緊急サポートネットワーク事業 病児預かり促進	継続	合志市受託事業
<p>(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない病院受診・病児預かりを補うことで、より充実した援助活動を実施した。保育所・医療機関の協力もあり、スムーズに行うことができた。</p> <p><利用料金> 月～金 1,000円、土1,100円 (日・祝日の活動は原則として行わない) ※市が半額助成、その他実費負担あり</p> <p><会員登録数> ・利用会員 322名 ・協力会員 103名</p> <p><利用状況> ・緊急サポート活動 (病院受診0件、病児預かり10件)</p>		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	病児預かり7:30～20 病院受診9～18
		実施場所	原則協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員435名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-160	病児・病後児保育事業「すこやか」	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を目的に実施した。嘱託医の協力により、職員のスキルアップ研修実施や病状の変化を相談しながら保育を行った。預かりを通して、保護者に子育てや病気時の対応について助言し、病気の子どものお世話と仕事の両立をする保護者に寄り添う支援を行うことができた。</p> <p>(実績者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総登録者数3,426名(新規登録 271名)・延利用数 585名(市外利用者92名) ・利用世帯状況(課税 322 非課税 8 非課税ひとり親 29 生活保護 0) ・当日及び前日キャンセル 172名 ・開設日数 286日(日・祝日、12/29~1/3は休日) <p>(利用料金/1日) *5時間未満は半額 課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出</p>		事業費	病児保育事業 14,779千円
		実施日時	月～金7:30～18:00 土曜日7:30～13:30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市内、熊本市在住、保護者が市内に勤務する (2ヶ月～小学3年生など)
		人数	定員6名,利用総数585名 (内市外92名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
161	病児・病後児保育事業 月曜こども健康・育児相談	継続	独自事業
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>子どもの健康や、育児に関する相談について、病児病後児担当の看護師またはこども支援センター保育士等が対応し、身近な相談窓口として実施した。</p> <p>(相談内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体重測定や発達等(言葉や発達遅延の悩み)に関すること ・離乳食に関すること(食事量・食事形態について) ・子どもの病気に関すること(アレルギーや皮膚トラブルの対応等) ・予防接種に関すること ・便秘等排泄に関すること ・睡眠、夜泣き、断乳に関する事、母親の体調に関すること 		事業費	病児保育事業
		実施日時	毎月曜日 10:30～11:30
		実施場所	第1～3月曜日 ふれあい館地域子育て支援センター「りんごのへや」 第4月曜日 南ヶ丘福祉支援センター(ひかり)
		対象者	全子育て世帯
		利用件数	74名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	キッズクラブの設置運営	継続	合志市受託事業
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に各学校で実施している学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童を優先して実施した。家族状況が急遽変わり、支援が必要な児童についても迅速に対応した。実施場所の利点を活かし、デイサービスのご利用者や乳幼児と異世代交流を実施。夏休みに毎年実施している平和交流では、戦時中の衣食住やあそびについて直接話を聞くことができ、子どもたちにとって貴重な体験となっている。また、保育園児との交流も実施し、子どもたちの人の役に立ちたいとの気持ちを高める経験につながっている。</p> <p><利用料> ・基本料金 3,000円・月曜日～金曜日 300円(軽食付) ・土曜日・長期休暇等 600円(軽食付) <利用状況> ・延利用者 5,928名(平日平均利用数25.3名)</p>		事業費	放課後児童健全育成事業費 15,855千円
		実施日時	月～金 12時～20時 土 8時～20時 長期休暇 9時～20時 年間 268日開設
		実施場所	ふれあい館
		対象者	西合志東小、西合志南小、西合志中央小 1～6年生
		人数	(年度当初)定員36名 (年度末)定員34名 延利用数5,928名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
165 166	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業																												
(事業の内容、実績) 障がいのある子どもが、学童クラブを利用する機会を確保し、子ども同士が生活を通して共に成長できるよう職員配置を行い、保護者や関係機関と連携をとり支援を行った。		事業費	障害児預かり事業 5,541千円																												
		実施日時	各学童クラブと同じ																												
		実施場所	各学童クラブと同じ																												
		対象者	障がいがある児童																												
		人数	4名																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キッズクラブ</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>くすの木クラブ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>							クラブ名	1年	2年	3年	4年	5年	計	キッズクラブ	2	1	0	0	0	3	くすの木クラブ	0	0	0	1	0	1				
クラブ名	1年	2年	3年	4年	5年	計																									
キッズクラブ	2	1	0	0	0	3																									
くすの木クラブ	0	0	0	1	0	1																									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
162-164 166	第一小学校地域学童クラブ(くすの木クラブ)の設置運営	継続	合志市受託事業																												
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間保育が出来ない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。学校と連携を密にしながら実施し、地域に存在する学童である特色を活かし、合生文化会館や地域のボランティア等と交流を行った。また、地域の中にある学童として子どもたちに意識させるために、毎月1回隣接する公園の清掃を行った。 <利用料> ・通常月(5、6、9、10、11、1、2、3月) 7,000円 ・4、7、12月 8,000円 ・8月 10,000円 ・土曜利用料 1回600円 ・延長利用料 200円/1回 <利用状況> ・延べ利用者数 3,210名 (平日平均利用 13.4名)		事業費	放課後児童健全育成事業10,680千円																												
		実施日時	月～金 12時～19時 土 8時～19時 長期休暇 8時～19時 年間 252日開設																												
		実施場所	立割老人憩いの家																												
		対象者	西合志第一小 1～6年生																												
		人数	(年度当初)定員19名 (年度末)定員19名 延利用者数3,210名																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
157-160	病児病後児保育室「陽(光)」の設置運営	継続	合志市受託事業																												
(事業内容) 南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、生後2ヶ月から原則小学校3年生まで(センター長が認めたものは小学校6年生まで)の児童を対象に、感染症を除く病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的に実施した。 (実績者数) 延べ利用数 127人 (市外利用者数 2人) (課税世帯 75人非課税世帯 0人 非課税ひとり親世帯 3人 生活保護世帯0人) 開設日数 240日(土日・祝日、12/29～1/3は休日) ≪利用料金/1日≫ *5時間未満は半額。 課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出		事業費	7,450千円																												
		実施日時	月曜日～金曜日 7:30～18:00																												
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり																												
		対象者	生後2ヶ月～ 原則小学校3年生																												
		人数	3人																												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	学童保育「びーすクラブ」の設置運営	継続	合志市受託事業
(事業内容) 南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかりにおいて、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない児童を対象に実施した。年々増加している待機児童の受け皿として対応を図った。		事業費	15,855千円
(実績者数) ・延べ利用者数 3,335人 ・開所日数 252日 ・平均利用者数(日) 13.8人		実施日時	月～金 正午～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時
(登録者数) ・学校別 南小: 1人 南ヶ丘小: 19人 ・学年別 1年 1人、2年 12人、3年 4人、5年 1人、6年 2人		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター 一輝き館ひかり
		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年
		利用定員	20人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
165 166	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業
(事業内容) 南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない障がい児を対象に実施した。		事業費	3,694千円
(実績者数) ・延べ利用者数 475人 ・開所日数 252日 ・平均利用者数(日) 1.8人		実施日時	月～金 正午～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時
(登録者数) ・学校別 南ヶ丘小2人 南小1人 ・学年別 1年生1人、2年生2人		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター 一輝き館ひかり
		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年
		人数	3人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
167-169	長期休暇等児童預かり事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により夏休み等長期期間中の昼間保育ができない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。地域の民生委員と異世代交流を実施し、昼食やおやつ作り、ボランティア指導による製作活動を行った。今年度も、保護者のニーズに合わせ、夏期休暇時は南ヶ丘福祉支援センターでも実施したことにより、受け入れ枠の拡大が図れた。		事業費	2,439千円
<利用料> ・長期休暇期間 ・春休み 3,500円(4月) ・夏休み 16,500円 ・冬休み 3,000円 ・春休み 3,500円(3月) 別途保険料等 年間2,000円		実施日時	月～金 8時～18時 開設37日
※令和2年3月のみコロナウイルス感染症蔓延防止のため、ふれあい館での預かり。(延長なし)		実施場所	くすの木クラブ 南ヶ丘福祉支援センター ひかり(夏期のみ)
		対象者	学童クラブに在籍しない 1年生～6年生
		人数	実登録34名 延登録89名 延利用数549名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
170 171	ひとり親家庭等日常生活支援事業 「生活援助員派遣事業」「子育て支援員派遣事業」	継続	合志市受託事業
(事業内容) ひとり親家庭等が修学や疾病等の理由により一時的に家事、育児等の日常生活に支障が生じた場合に、家庭生活支援員が児童の世話、家事等日常生活の支援を行うことを目的に家庭生活支援員の調整を行い、ひとり親家庭等の生活の安定や自立を支援した。 ※家庭生活支援員は熊本県家庭生活支援員養成講習会を修了したもので、生活援助員派遣はホームヘルパー3級以上の有資格者とする。		事業費	事務費300円×日数 支援員活動費
		実施日時	4/17.22.30 5/3.7.13.21
		実施場所	利用者自宅
(利用実績) ・4月 3回利用(買い物支援) ・5月 4回利用(買い物支援)		対象者	児童を養育する母子・ 父子家庭及び寡婦
		利用者数	1人 延べ利用数 7回
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
172	合志市子育て短期支援事業	継続	合志市受託事業
(事業内容) 保護者が仕事やその他の理由により夜間や休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合や緊急の場合において、児童を保護し、食事等の提供。		事業費	実施要綱基準額による
(利用実績) 今年度利用なし		実施日時	必要時に 市より依頼
		実施場所	こども支援センター
		対象者	保護者の仕事等により 夜間等に不在
		利用者数	利用なし



「病児保育」＝保育士、看護師が病気のこどもを専用室でお預かり

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
介護サービス課 デイサービスセンター班		17人	11人	28人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定第1号通所事業

- 第1号通所事業(要支援)ご利用者は自宅での入浴が可能な為、入浴を中止し機能訓練と脳トレーニング、自主訓練の時間帯に変更した。その結果、心身の機能維持・向上が図られ、足腰の痛みが軽減した等の声が増えている。利用日の選定についても、自身の用事がある日を休み、好きな昼食メニュー日に利用するなど、自己判断できる要支援の方ならではの利用方法となっている。只、入浴を中止した事で5～6名程の利用者が変更申請され要介護認定となられた為、来年度からの事業所評価加算は中止となった。しかし、利用者にとっては、状態像に合った適正な介護度となったと思われる。
- サービス内容は、自立支援を意識していただくよう取り組み、外出行事なども要介護の方と別に行った。

(2) 指定通所介護事業

- 第1号通所事業利用者の入浴を中止した事で、入浴中の介護と見守りの充実により、転倒等のヒヤリハット報告数が減少し事故発生も防止出来た。
- 重度認知症の方の受け入れを積極的に行った結果、家族、担当ケアマネージャーとの信頼関係が構築され、新規利用者の依頼が増えた。又、現在の利用者及びその家族からの紹介が増えた事も利用者増に繋がっている。その為、通常規模以上の利用者数となり、来年度は大規模Ⅰへの変更となった。
- 加算取得について、今年度は栄養スクリーニング加算の取得を先行した為、ADL(日常生活動作)維持等加算については算定を見送っていたが、日常生活動作の評価を継続し、基準に該当していることから、来年度から算定可能となり取得開始することとなった。
- 延長サービスに代わる夕食弁当配達は継続中、服薬飲み忘れを防ぐため、服薬カレンダーの確認や声掛けも配達と同時に支援した。

(3) 生活介護

- 利用者のほとんどに医療的処置が必要であるため看護師の役割が重要となっている。(在宅酸素使用、胃瘻、筋ジストロフィーと心臓発作等)。

(4) 通所型サービスA、C、訪問型サービスC

- 通所型、訪問型サービスC利用で、ほとんどの方に運動機能の改善が認められ、6か月卒業後は、ほとんどの方が通所型サービスAへ移行されている。

2 業務を推進していく場合の課題

独居高齢者の増加が著しく、送迎時にデイサービス以外の支援を要する方が増えている(デイ準備、着替え、移動、電灯やテレビ、冷暖房等の点け消し、鍵の確認、薬の準備等)。送迎時は時間も限られ、他の利用者も同乗されている事から対応が難しい場合が多い。又、独居な為、デイ利用中以外の自宅での過ごし方も懸念される方が増えている。担当ケアマネージャーや家族との連携を強化し安全な生活維持を支援する必要がある。

3 今後の方向性

最後まで自宅で過ごしたいという本人、家族の思いに寄り添うとともに、重度化・医療ニーズの高い方の受け入れを見据えた職員の質の向上。看護師を中心とした緊急時や看取りの体制を整えていく。又、独居高齢者が増えている状況から、地域での安全な生活継続の為にも社協各部署及び、他事業所との情報共有を強化していく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
174	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスA(みどり館)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容) 介護予防を目的に運動指導や栄養、口腔指導、認知症予防の脳トレ、レクリエーションを通して楽しみとなる趣味活動を実施。また季節ごとの外出に伴った買い物や創作活動、調理活動を行った。通所型サービスCから移行の利用者が半数以上を占めており、通所型サービスCで指導した自宅での体操や脳トレを継続的に取り組まれている。また利用中に自主的に手芸や趣味活動を意欲的に取り組まれるなど活気が出てきている状況である。3月以降は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に通所事業は休止、電話支援に変更となった。		営業日	水曜日 金曜日										
		営業時間	10:00～15:00										
		休日	祝日 12/30～1/3										
		対象者	65歳以上										
		利用定員	20人										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実人数</th> <th>年間利用</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所型A</td> <td>水 14人 金 15人</td> <td>1086人</td> <td>92日</td> <td>11.8人</td> </tr> </tbody> </table>		内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均	通所型A	水 14人 金 15人	1086人	92日	11.8人		
内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均									
通所型A	水 14人 金 15人	1086人	92日	11.8人									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
175	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスC(みどり館)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容) 6ヶ月間集中的に身体機能の向上を目的に運動指導を行い、利用中に個別に訓練の指導、自宅での運動が継続できるようアドバイスを行った。また栄養指導や口腔機能向上のための指導、認知症予防の脳トレを実施することで利用者の心身機能向上を図ることができた。通所型サービスC卒業後は通所型サービスAへの移行が多かった。3月以降は新型コロナウイルス感染蔓延防止の為に通所事業は休止、電話支援に変更となった。以前からの検討事項であった地区割りについて年度末に見直しがあり、新しい地区割りとなる。その為、利用者増が見込まれる。		営業日	木曜日										
		営業時間	10:00～13:30										
		休日	祝日 12/30～1/3										
		対象者	65歳以上										
		利用定員	20人										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実人数</th> <th>年間利用</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所型C</td> <td>6人</td> <td>174人</td> <td>46日</td> <td>3.8人</td> </tr> </tbody> </table>		内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均	通所型C	6人	174人	46日	3.8人		
内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均									
通所型C	6人	174人	46日	3.8人									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
176	介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスC(個人宅訪問)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容) 作業療法士が通所サービス利用前と終了時の2回自宅を訪問し、自宅での生活状況や役割、社会参加の状況をたずね、自宅での動作確認を実施。訪問内容をふまえた上で、利用者の身体機能の維持・改善のための個別プログラムを立案し自宅で継続して実行できるようアドバイスを行った。通所型サービス終了時の自宅訪問では、初回自宅訪問時と比較し、身体機能の改善がみられた。		営業日	随時実施										
		営業時間	随時実施										
		休日	祝日 12/29～1/3										
		対象者	65歳以上										
		利用定員	20人										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実人数</th> <th>年間利用</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型C</td> <td>18人</td> <td>18回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均	訪問型C	18人	18回				
内容	実人数	年間利用	開設日	1日平均									
訪問型C	18人	18回											

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
177	総合事業:第1号通所事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業																								
(事業内容) 要支援1,2の方を対象に、介護予防・日常生活の自立を目的に支援を行った。介護予防の観点から、運動機能向上・口腔機能向上・認知症予防・低栄養の予防を目的に講話を行った。運動や口腔ケアは自宅でも取り組めるように元気積立帳を作り、介護予防への取り組みの強化を図っている。今年度も外出行事を要介護の方と分け区別することで、自立支援をご自身でも意識していただくよう働きかけた。入浴を中止した影響から、変更申請し要介護認定となられた方が5~6名程居られた為、利用者数は減少した。		営業日	月曜日~金曜日																								
		営業時間	9:20~15:00																								
		休日	土・日曜日 12/30~1/3																								
		対象者	要支援1・2の認定を受けられた方																								
・介護度別利用実人数(年度末3月実績)1日平均 要支援1・2 5.5人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>要支援1</th> <th>要支援2</th> <th>年間開設日数</th> <th>年間延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3人</td> <td>16人</td> <td>253日</td> <td>1688人</td> </tr> </tbody> </table>		要支援1	要支援2	年間開設日数	年間延べ人数	3人	16人	253日	1688人	利用定員	45人(通所介護と合わせて)																
要支援1	要支援2	年間開設日数	年間延べ人数																								
3人	16人	253日	1688人																								
178	指定通所介護事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業																								
(事業内容) 要介護1~5の方を対象に、自立支援を基本とし、家族支援を視野に入れサービスを行った。運動の充実は定着し、機能維持だけでなく状態の改善ができた方も多く見られた。季節行事、外出、学童や保育園児との交流、地域のボランティア等の受け入れも行っている。地域包括ケアシステム構築の中で、当通所介護の役割を、最後まで住み慣れた場所での支援とし、利用者・家族の気持ちに寄り添えるよう心がけ、重度の認知症の方の受け入れも積極的に行った。又、延長サービスに代わる夕食弁当の提供は継続した。		営業日	月曜日~土曜日																								
		営業時間	9:20~16:30																								
		休日	日曜日 12/30~1/3																								
		対象者	要介護1~5の認定を受けられた方																								
・介護度別利用実人数(年度末3月実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>25</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table> ・介護給付(活動実績) 開設日数305日 <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2932</td> <td>3046</td> <td>1268</td> <td>342</td> <td>362</td> <td>7950人</td> </tr> </tbody> </table> (1日平均 要介護1~5 22.7人) ・夕食弁当サービス239件		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	27	25	6	2	2	62人	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	2932	3046	1268	342	362	7950人	利用定員	45人(第1号通所事業と合わせて)
介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計																						
27	25	6	2	2	62人																						
介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計																						
2932	3046	1268	342	362	7950人																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
179	基準該当生活介護サービス(ふれあい館)	継続	その他の事業																								
(事業内容) 入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、レクリエーションを通して、他者との交流の機会を提供した。自立した生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上の為に必要なりハビリを個別に実施した。年齢が介護保険利用の方に近い方の受け入れを継続してきたが、介護への移行はなく生活介護での利用継続となっている。		営業日	月曜日~土曜日																								
		営業時間	9:30~15:00 9:30~16:30																								
		休日	日曜日 12/30~1/3																								
		対象者	障害手帳をお持ちの方																								
(実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>実人数</th> <th>年間利用</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6人</td> <td>436人</td> <td>303日</td> <td>1.4人</td> </tr> </tbody> </table>		実人数	年間利用	開設日	1日平均	6人	436人	303日	1.4人	利用定員	5人																
実人数	年間利用	開設日	1日平均																								
6人	436人	303日	1.4人																								

担 当 課	職 員 数	常 勤	非 常 勤	合 計
介護サービス課 ヘルパーステーション班		8	人	34

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問介護、予防訪問介護事業

訪問介護においては、利用者数は前年度とほぼ変わらない利用数であったが、身体介護の見守りの援助の利用が増えたため介護報酬の低下は見られなかった。認知症状のある利用者に対しては、自立支援・重度化防止をケアの基軸としたかわりをする事で、少しでも病状の進行を防ぐことが出来、より長く在宅生活を送ることができた。また、ターミナルケアの利用者も前年度より少数ではあるが増え、医療との連携を取りながら支援し、在宅生活の継続へとつなげることができた。総合事業利用は、生活支援が多い中、通所サービスではできない身体介護の入浴支援者が若干増えた。

(2) 訪問型サービスA事業(市委託)

新たなサポーター登録は13人、うち9人がエグゼクティブサポーター養成講座修了者であった。サポーター登録者は増員されたが、依頼者と支援者のマッチングが適切にできず、エグゼクティブサポーターの対応では困難なケースもあり、ヘルパー資格者を登用することも多くあった。

(3) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託)

今年度利用実績なし。

(4) 有償介護支援サービス事業(独自事業)

介護保険制度上、介護ヘルパーによる支援は不可、また代替のサービスもなく当ヘルパーでなくてはならない利用者に対し26件の支援を実施した。

(5) 障がい福祉サービス事業(居宅介護等・重度訪問介護・同行援護)

家事支援等のサービスの提供は前年度と比べあまり変化は見られていない。身体介護の入浴サービスの提供に関しては、他のサービス(訪問入浴)等への変更や障害児の通所サービスへの変更で入浴支援の需要が減った。重度訪問介護や同行援護のサービス提供も安全で安心した支援提供となった。

(6) 移動支援事業(地域生活支援事業・市委託)

利用者数は1名減であったが、利用回数が増え報酬は増加した。利用者の余暇活動の援助ができ、楽しみにつなげることができた。

(7) 有償ヘルパーサービス事業(障がい)

障がい福祉サービスの制度上、ヘルパー支援は不可、代替のサービスもなく、当事業所ヘルパーでなくてはならない利用者に対して支援を行った。また、今年度より受診時の診察室内の介助は、障がい福祉サービスの算定ができないことにより、その部分は有償ヘルパーの利用での算定となった。結果有償ヘルパー利用が増えた。

2 業務を推進していく場合の課題

支援者が不足する現状で新たな支援の受け入れが大変困難な状況にある。

3 今後の方向性

在宅での生活維持の制度設計が行われている中、自立支援と重度化防止のサービス提供を見据え、自主研修会などを通じて各ヘルパーへの指導を行い、更なる質の向上に努めていく。介護保険サービスと障がい福祉サービス事業所の組織を一体化し充足した支援に努めていきたい。また、介護サービスをはじめ、諸制度の福祉サービスとの連携を強化推進し、在宅生活の継続を支えていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
180-184	訪問介護事業	継続	訪問介護事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>指定訪問介護、予防訪問介護事業(日常生活支援総合事業)・訪問型サービスA事業、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等を、生活に支障ある高齢者や家族に対し、住み慣れた地域(自宅)で安定した安全な生活が安心して送れるように、専門的な知識と技術を用いながら生活支援や身体介護サービス提供を行った。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th> <th>サービス別</th> <th>利用者数(人)</th> <th>訪問件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td> <td>介護</td> <td>475</td> <td>4746</td> </tr> <tr> <td>予防(総合)</td> <td>640</td> <td>3931</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託事業</td> <td>訪問型サービスA</td> <td>200</td> <td>770</td> </tr> <tr> <td>やすらぎ</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>29</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1344</td> <td>9502</td> </tr> </tbody> </table>		実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	475	4746	予防(総合)	640	3931	委託事業	訪問型サービスA	200	770	やすらぎ	0	0	独自事業	有償ヘルパー	29	55		合計	1344	9502	営業日	月曜日～土曜日		
実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)																												
介護保険	介護	475	4746																												
	予防(総合)	640	3931																												
委託事業	訪問型サービスA	200	770																												
	やすらぎ	0	0																												
独自事業	有償ヘルパー	29	55																												
	合計	1344	9502																												
		営業時間	8:30～17:30 他、必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	介護やその予防が必要な高齢者																												
		利用定員	120名程度																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
207-210	障がい者(児)訪問支援事業	継続	障がい者(児)訪問事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>身体的や精神的に障害を持った方や重度の肢体不自由や知的障害があり、常に介護を必要とする方に対して、地域の中で安心して安全に自分らしい生活を継続していけるように、専門的な知識と技術を用いながら支援を行った。家事援助や身体介護、重度訪問介護・同行援護・移動支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等のサービス提供を行った</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>サービス別</th> <th>利用者数(人)</th> <th>総利用時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護等</td> <td>身体介護・家事援助</td> <td>633</td> <td>8,748</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td></td> <td>25</td> <td>770</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td></td> <td>18</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>委託事業</td> <td>移動支援</td> <td>56</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>33</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>765</td> <td>10,116</td> </tr> </tbody> </table>			サービス別	利用者数(人)	総利用時間数	居宅介護等	身体介護・家事援助	633	8,748	重度訪問介護		25	770	同行援護		18	76	委託事業	移動支援	56	477	独自事業	有償ヘルパー	33	45		合計	765	10,116	営業日	月曜日～土曜日
	サービス別	利用者数(人)	総利用時間数																												
居宅介護等	身体介護・家事援助	633	8,748																												
重度訪問介護		25	770																												
同行援護		18	76																												
委託事業	移動支援	56	477																												
独自事業	有償ヘルパー	33	45																												
	合計	765	10,116																												
		営業時間	8:30～17:30 必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	障がい手帳所持者(児)																												
		利用定員	80名程度																												

担 当 課	職 員 数	常 勤	非 常 勤	合 計
介護サービス課 訪問看護ステーション班		2 人	1 人	3 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問看護・予防訪問看護事業

24時間体制でサービスを提供した。総数28名(介護23名、予防5名)の方の利用があった。体調不良時や急変時に看護師が10件緊急対応(うち救急搬送2件、受診同行1件)、その他臨時訪問や電話での相談対応などの適切な判断により利用者や家族の安心感となり、在宅で過ごせるよう努めた。また、在宅酸素療法や胃瘻などの特別な管理を要する利用者6名の入浴介助や体調管理と共に、医療機器の管理や操作方法に対する不安軽減のため、相談や指導など併せて行った。その他、栄養状態不良の利用者の在宅での3日以上点滴治療の実施、壊死状態で創処置が必要な利用者については他の訪問看護事業所と協働で支援を行い情報共有に努めた。本年度は介護予防の利用者が前年度より増加。認知症状があり血糖コントロール不良の糖尿病利用者の在宅生活の支援を関係事業所と連携し行った。

(2) 医療保険訪問看護事業

24時間体制でサービスを提供した。乳幼児1名、成人8名の方の利用があった。体調不良時や急変時に看護師が9件緊急対応(うち救急搬送1件)、その他臨時訪問や電話での相談対応などの適切な判断により利用者や家族の安心感となり、在宅で過ごせるよう努めた。また、看取りに関して、主治医からの依頼により、非公開型医療連携コミュニケーションツールを利用。多職種連携を図り、住み慣れた自宅で家族と最期まで寄り添い支援を行った。

今年度は4月より臨時職員1名復職。常勤2名、臨時2名で事業を開始したが、昨年雇用の臨時職員1名が8月中旬退職、以降、3名で事業を遂行した。地域の医療機関より病棟看護師の訪問看護実習(1日)を今年度も受け入れた。当事業所の訪問看護実施状況を体験され、在宅での様子を知る事ができたためか、当該医療機関からの新規依頼の増加に繋がった。また、今年度は社協居宅とは班が隣り合っていることで、連携や情報共有が密に図れることもあり依頼が多かった。また、「くまもとメディカルネットワーク」については今年度も利用することがなかった。

2 業務を推進していく場合の課題

今年度、菊池圏域では新規事業所が増加傾向にあるものの、閉所する事業所もある事からサービス不足が継続している。又、当会においても人材確保や定着が非常に困難な状況にある。安定した支援体制構築のためにも早期の看護師補充が必要であると考えます。

3 今後の方向性

病気や障がいがあっても、住み慣れた地域で生活するためには訪問看護師の役割は大きい。子育て中の職員も働きやすい職場環境に努めることで事業継続に努めていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																										
180-184	訪問介護事業	継続	訪問介護事業																										
<p>(事業内容)</p> <p>指定訪問介護、予防訪問介護事業(日常生活支援総合事業)・訪問型サービスA事業、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等を、生活に支障ある高齢者や家族に対し、住み慣れた地域(自宅)で安定した安全な生活が安心して送れるように、専門的な知識と技術を用いながら生活支援や身体介護サービス提供を行った。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th> <th>サービス別</th> <th>利用者数(人)</th> <th>訪問件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td> <td>介護</td> <td>554</td> <td>5252</td> </tr> <tr> <td>予防(総合)</td> <td>581</td> <td>3552</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託事業</td> <td>訪問型サービスA</td> <td>202</td> <td>789</td> </tr> <tr> <td>やすらぎ</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1360</td> <td>9619</td> </tr> </tbody> </table>		実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	554	5252	予防(総合)	581	3552	委託事業	訪問型サービスA	202	789	やすらぎ	0	0	独自事業	有償ヘルパー	23	26		合計	1360	9619	営業日	月曜日～土曜日
実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)																										
介護保険	介護	554	5252																										
	予防(総合)	581	3552																										
委託事業	訪問型サービスA	202	789																										
	やすらぎ	0	0																										
独自事業	有償ヘルパー	23	26																										
	合計	1360	9619																										
		営業時間	8:30～17:30 他、必要に応じ対応																										
		休日	日曜日 12/29～1/3																										
		対象者	介護やその予防が必要な高齢者																										
		利用定員	120名程度																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																										
185-189	指定訪問看護事業	継続	訪問看護事業																										
<p>(事業内容)</p> <p>指定訪問看護事業(介護保険及び医療保険)・指定難病医療医療機関・指定小児慢性特定疾病医療機関・指定自立支援(精神通院医療)医療機関等により、医師の指示のもと、一人一人の状態に応じた訪問看護サービス提供を行った。本年度、在宅看取りは1件であった。介護保険の新規利用者が多かった。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th> <th>サービス別</th> <th>利用者数(人)</th> <th>訪問件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td> <td>介護</td> <td>172</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td>予防</td> <td>33</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医療保険</td> <td>国民健康保険</td> <td>77</td> <td>784</td> </tr> <tr> <td>社会保険</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>307</td> <td>1643</td> </tr> </tbody> </table>		実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	172	674	予防	33	185	医療保険	国民健康保険	77	784	社会保険	25			合計	307	1643	営業日	月曜日～金曜日				
実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)																										
介護保険	介護	172	674																										
	予防	33	185																										
医療保険	国民健康保険	77	784																										
	社会保険	25																											
	合計	307	1643																										
		営業時間	8:30～17:15 他緊急時対応あり																										
		休日	土、日曜日 12/29～1/3																										
		対象者	医師が必要と認め指示を受けた方																										
		利用定員	30名程度																										

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
介護サービス課 ケアプランセンター班		5 人	0 人	5 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定居宅介護支援事業(介護保険事業)

加齢や疾病による心身機能の低下により、不安定な生活を送る方々に、指定居宅サービス等の紹介を行ない、また、生活困窮の方に対し、安心サポート合志や地域包括支援センターと連携し出来るかぎり安全で安定した生活が送れるように、一人ひとりの思いに寄り添いながら支援を行なった。

総合事業においては、インフォーマルサービス等の情報収集と導入に努め、利用者の現有能力機能を最大限に生かせるケアプランを作成、他機関多職種との連携に努めたことで、安定した生活環境の確保ができ、要介護状態から要支援状態へ軽快された方も増えた。また、介護支援専門員全国大会など外部研修への積極的な参加を行い、他居宅介護支援事業所と連携し、研修の企画を行い、知識と技術の向上に努め、利用者の生活の質の向上に努めることができた。

(2) 福祉支援センター事業

当事業所は当会独自事業である福祉支援センター事業(介護相談・福祉用具貸出など。)も兼務しており、合志市の一般市民の方々からの相談等に迅速に対応し、介護保険事業に留まることなく福祉相談の場としても機能しながら適切な支援へスムーズに繋ぐことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 福祉業界における、支援者不足により、各利用者の意向に対応できない状況が多くみられるようになっている。施設環境は整うが人材不足により閉所、休業、合併を余儀なくされる事業所もあり、受け入れ先を探すことに苦慮する場合もある。

(2) 合志市管内は新興住宅地が多く、その住宅地の高齢者人口が急増加傾向にある。今後、必要とされるインフォーマルサービスに対し、地域の若い力が必要となってくるため、これまで以上に子育て世代との連携が重要となる。

(3) 地域福祉に力を入れている社協が運営するケアプランセンターであるため、住民の方からの直接の依頼や包括支援センターや民生委員からの依頼を受けることが多い。地域の方の安心な生活環境を確保するために地域の方々との連携を強化し続ける必要がある。

(4) 社会福祉協議会は単なる経営事業としてではなく、地域福祉の視点に立った事業所の運営が求められている。災害時の支援方法についても更に検討して行く必要がある。

3 今後の方向性

(1) インフォーマルサービスを含む、更なる社会資源の活用と市民への周知を図り、社協のケアプランセンター(地域福祉を目的とした介護事業)の特徴を発揮できるよう自己研さんに努める。

(2) 利用者の意欲、強みを十分活用し、自立支援に向けたケアプランの内容充実を図る。

(3) 行政及び指定居宅サービス事業所、各種団体(民児協等)との連携を強化し、相談に来所できない要援護者への関わりを強化する。特に、社内の相談事業所との連携、協働した情報収集に努め、潜在的なニーズの把握に努める。

(4) 困難と思われる事例に対し、安心サポート合志や地域包括支援センターと連携し、積極的な対応を図る。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
190・191	指定居宅介護支援事業 介護予防、介護予防ケアマネジメント事業	継続	介護保険事業																					
(事業の内容) 在宅で受けられる指定居宅サービスの紹介やインフォーマルサービス等の調整、ケアプランの作成、サービス利用に係る費用の計算・請求等を利用者に代わり行った。		営業日	月曜日から金曜日																					
(実績) ・CM換算数 5人 ・介護利用者数 1,711人 ・予防利用者数 224人 ・月平均数 161人 ・月担当平均数 介護 28.5人/CM 予防(1/2換算) 1.9人/CM 計 30.4人/CM		営業時間	8:30~17:30																					
		休日	土・日・祝日、 12/29~1/3																					
		対象者	要介護・要支援認定者																					
		月担当上限数	39人/CM																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
194	福祉支援センター事業	継続	独自事業																					
相談実績		営業日	月曜日から金曜日																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>来館及び訪問</th> <th>電話相談</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13件</td> <td>45件</td> <td>58件</td> </tr> </tbody> </table>		来館及び訪問	電話相談	計	13件	45件	58件	営業時間	8:30~17:30															
来館及び訪問	電話相談	計																						
13件	45件	58件																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>内訳</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">居宅介護支援</td> <td>居宅依頼</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>介護保険申請代行</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>福祉用具について</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡調整活動</td> <td>他事業所の紹介</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>包括への情報提供</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>290件</td> </tr> </tbody> </table>		相談区分	内訳	件数	居宅介護支援	居宅依頼	75件	介護保険申請代行	118件	福祉用具について	54件	連絡調整活動	他事業所の紹介	5件	包括への情報提供	28件	その他		10件	合計		290件	休日	土・日・祝日、12/29~1/3
相談区分	内訳	件数																						
居宅介護支援	居宅依頼	75件																						
	介護保険申請代行	118件																						
	福祉用具について	54件																						
連絡調整活動	他事業所の紹介	5件																						
	包括への情報提供	28件																						
その他		10件																						
合計		290件																						
		対象者	合志市民																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
194	福祉支援センター事業	継続	独自事業																					
福祉用具貸出事業		貸出期間	原則2週間																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>用具数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす(介助用)</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>車いす(自走用)</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>トイレ用具(ポータブルトイレ等)</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>入浴用具(浴槽件、シャワー椅子等)</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>歩行器</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>補助具(杖等)</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>ほか(スロープ等)</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132件</td> </tr> </tbody> </table>		項目	用具数	車いす(介助用)	75件	車いす(自走用)	16件	トイレ用具(ポータブルトイレ等)	21件	入浴用具(浴槽件、シャワー椅子等)	13件	歩行器	1件	補助具(杖等)	4件	ほか(スロープ等)	2件	合計	132件	貸出件数	132件			
項目	用具数																							
車いす(介助用)	75件																							
車いす(自走用)	16件																							
トイレ用具(ポータブルトイレ等)	21件																							
入浴用具(浴槽件、シャワー椅子等)	13件																							
歩行器	1件																							
補助具(杖等)	4件																							
ほか(スロープ等)	2件																							
合計	132件																							
※介護保険等のサービスに該当する場合等は原則不可。但し、現品が届くまでの間や試用の場合には貸出する。		その他	他法優先																					

職員数は令和2年1月1日現在

担 当 課	職 員 数	常 勤	非 常 勤	合 計
このみ坂保育園		21 人	15 人	36 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 施設の運営・経営管理について

児童福祉法及び関係法令を遵守し、社内管理規定や運営方針、経理管理や職員体制(規定の職員配置)等、熊本県や市の指導監査も問題なく、安定した運営を図ることができた。

(2) 保育内容について

①保育指針に示された基本原理や国のガイドラインを踏まえて、本会及び園の基本理念を基盤とした保育方針のもと、保育課程を編成し、年間の指導計画や毎月の指導計画、毎週の週案を立案、日々の保育についての、評価・反省・子どもの個人記録は、担任だけでなく全職員が子どもの育ちの状況を理解し、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を行った。

②異年齢編成の保育では、年上、年下の関係から子どもに多様な体験が得られた。生活する場面や遊びが充実した様子を、個人エピソードやクラスのオープン保育などを通して具体的に子どもの育ちが分かるように保護者へ情報やその場面の機会を提供した。

③障がいの有無にかかわらず、様々な背景を持っている子どもが集団生活を楽しく過ごせるような工夫と配慮をし、全職員が見守りに努め、安心して日々過ごすことができるように心掛けた。また、関係機関には相談やケース会議を開催して連携を行った。

④「つどいの広場」は、家庭で子育て中の方の居場所としての役割を果たした。保護者同士のつながりからピアカウンセリングが広がり、子育ての負担感の軽減にもなった。

⑤支援が必要な家庭については、20時までの延長保育で柔軟な対応に努めた。

⑥健康管理(病気)、事故対応(ケガ・病院受診)では、保育看護を担当する看護師を中心に対応を行った。園での事故については、すべて加入している保険で対応した。

⑦給食では、栄養士、調理師が中心となり、在園児並びに保護者、また、地域の子育て家庭の親子を対象とした乳幼児食の提供を行う給食体験・離乳食体験事業を定期的に行った。特に離乳食は、0歳児担当や給食委員会を中心に試食等を繰り返しながら取り組みを行った。また、農園で収穫した野菜を食材として使うことで子どもの食育活動にも効果があった。

⑧デイサービスや地域の行事に参加し、利用者やボランティアの方々との交流を通して、異世代・異文化・地域交流活動から多様な関係を構築した。また、年間活動として農園や絵本の読み聞かせを通しての交流はより深く異世代とのつながりを強めた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) キャリアアップ制度を利用して処遇改善を図り、専門リーダーの育成を行うとともに、その役割を業務の中で遂行する。

(2) 保育士の人材確保と女性が働きやすい職場環境を整えるために職員内での検討委員を設置する。

(3) 専門業者や専属担当を配置して業務の効率化をはかる。(清掃・用務)

(4) 施設や遊具・備品等の見直し計画的に改修、購入をする。

3 今後の方向性

乳児保育・幼児保育・障がい児保育・保護者支援の充実を図る。

(1) 環境の変化を踏まえ、子どもの健康管理や安全対策に取り組む。

(2) 乳児(未満児保育)、異年齢保育の充実のため積極的な研修や研究会に参加をする。

(3) 家庭及び地域と連携した包括的支援で虐待予防に取り組む。

(4) 他施設の障がい児との交流事業を受け入れる。

(5) 職員の資質向上、専門性の追求を図る。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
73	通常保育事業 (異年齢保育・障がい児保育・体力、食育推進)	継続	児童福祉法
	(1) 保育理念である「人を思い、人を育て、ヒューマンリズムを育む保育園」を基本に、「優しさや思いやり」を育てることを大切にする保育に取り組んだ。社協の保育園としての特色を生かし、異世代交流、地域交流や体験活動などを日常に多く取り入れた。 入所児童数(定員90名) 園児総数(97～102名)	事業費	115,042千円
		実施日時	H31年4月1日～ R2年3月31日
	① 異年齢保育では3. 4. 5歳児の年齢差がある子どもが、生活や遊びの中で人と関わりながら育ち合う学びがあった。	実施場所	このみ坂保育園
	② インクルーシブ保育を心掛け、支援や配慮が必要とされる子どもには保護者や関係機関との連携を図りながら対応した。	対象者	0歳児～5歳児
	③ 体力・食育推進は、保育者だけでなく、外部講師や地域のボランティアと共に活動した。	人数	園児総数102名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
74	その他の事業 (延長保育・一時保育)	継続	児童福祉法
	(1) 延長保育事業 (月曜日～土曜日 18:01～20:00) 多様な就労形態に対応するため、通常保育を延長して保育を行った。	事業費	728千円
	(2) 休日特別保育(「天皇即位による休日法」施行に伴う休日保育) 市からの依頼により、4月30日、5月1日、2日の祝日のみ実施した。	実施日時	H31年4月1日～ R2年3月31日
	(3) 一時保育(自主事業) 子育て支援である、児童の健全育成、保護者支援等福祉の増進を図ることを目的にした自主事業で行った。 (実施日数24日 延べ利用者25名)	実施場所	このみ坂保育園
	(4) 副食費徴収事業 令和元年10月からの保育料の無償化に伴い、主食費同様、副食費については園で徴収を行った。	対象者	このみ坂保育園児 及び合志市内対象児
		人数	延長利用児童55名 利用者総数2, 507名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
75	地域子育て拠点事業(ひろば型)	継続	合志市受託事業
	(つどいの広場:わかば) 地域の社会資源としての役割でもある子育て家庭への支援が目的である。家庭にこもりがちな密室の子育てを防ぎ、親のストレスを軽減する役割を担う。未就園児の親子が安心して、育児が楽しいものとなるような子育てできる居場所を提供した。(親子交流、ピアカウンセリング、情報の提供、子どもの発達相談、季節のイベント、園児との交流) 開催 月～金曜日 10:00～15:00 利用料 なし (参加状況) ・開催日219日 (行事企画回数108回 参加者1, 962名) ・新規来園者167組 ・利用者 乳幼児1, 578名 保護者1, 447名 他31名 総数3, 056名	事業費	4, 250千円
		実施日時	H31年4月1日～ R2年3月31日
		実施場所	このみ坂保育園内 専用保育室
		対象者	家庭内保育を行っている親子
		人数	参加総数3, 056名

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
障がい者支援課 障がい相談支援班・障がい通所支援班		18	7	25
		人	人	人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【相談支援事業】

- ・ 特定事業所として相談員を4名配置し、要医療児者支援体制、行動障害支援体制、精神障害者支援体制を整え新規相談の受け入れを増やすことができた。
- ・ 相談件数が顕著に増加している障がい児相談では、不登校や引きこもり、保護者の育児困難なケース等を行政、学校等関係機関と連携することにより問題解決に努めた。
- ・ 成人期の相談においては、生活困窮や長期化する引きこもり問題、就労問題にもサービス事業所や医療機関と連携することで、それぞれの利用者が希望する生活を過ごすための相談支援を行うことができた。
- ・ 計画相談で対応し、福祉サービスを利用していた相談者もれんがの家相談事業所や安心サポート合志等と連携し、一般相談で対応することにより安心して一般就労等へ挑戦し、自立した生活へつなげる支援ができた。(計画終了するケースが増えた。)

【児童発達支援】(定員10名)

- ・ 感覚統合訓練の活動場所として、今年度はこのみ坂保育園遊戯室・ホールを月に1回使用した。子ども同士の交流は難しかったが、職員間においては、障がいの特性や支援方法を共有することができた。
- ・ 個別支援計画に基づき、活動内容を利用児の障がい特性や年齢により小グループ化することで個別対応を行った。
- ・ 保護者参加型活動をグループトーク形式や親子参加型にすることにより障がい児のかかわり方や悩みの共有、父親の育児の参加など、保護者支援として、年間5回実施した。

【地域活動支援センター】

- ・ れんがの利用者・利用児の作品を「れんがのなかまたち展」とし「お菓子の香梅光の森店;ギャラリー」にて展示し、広く合志市社協やれんがの家の活動を紹介する機会とした。
- ・ 相談支援事業所や安心サポート等から利用者の紹介があり、新規利用者もみられているが、利用終了や、利用が減少している方もある。陶芸教室への参加は増えているが今後の活動内容を検討する必要がある。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 相談支援事業

- ・ 多様化する生活課題と複雑化する困難事例や他機関との連携、行動障害児や重度者の受け入れ先の不足。生活相談支援センターとの連携。

(2) 地域活動支援センター

- ・ 利用者の確保や楽しく安心して過ごせる空間づくり、対応する職員の相談支援のスキルアップ。

3 今後の方向性

(1) 相談支援

- ・ 生活支援相談センターや地域福祉課等社協内のさらなる連携を強化し、地域住民の多様化複雑化するニーズや地域生活支援拠点整備に対応できる相談機関として、相談員のスキルアップ、人材育成に努め、環境整備も行う。

(2) 児童発達支援

- ・ 利用児や家族のニーズに対応できるよう、療育とレスパイトの視点を含め対応できるプログラムを設定し提供する。(具体的には、13時までの活動提供と15時までの預かりが必要な利用児の受け入れ等ニーズに沿って提供する。)

(3) 地域活動支援センター

- ・ 登録情報や個人シートの見直しと整備。

番号	事業の名称	継続	事業形態																				
195～200	合志市地域活動支援センター	継続	合志市受託事業																				
<p>(事業内容)</p> <p>合志市委託事業として障がいをお持ちの方々の余暇活動及び相談支援を実施した。利用者間の関係づくりや相談援助なども細かに対応し、創作・生産活動を通して共同活動を行う事によりコミュニケーションを図った。生産活動の完成品は市内のユーパレス弁天・カントリーパークの物産やれんがの家イベント等で展示販売した。</p> <p>(年間利用者数)</p> <p>・延利用者数:1,179人 ・登録者数:68人(地域別:合志市61人、菊池市3人、菊陽町1人、大津町0人、熊本市2人、他1人)</p> <p>(活動実績)</p> <p>・創作活動:107件、生産活動:223件、相談援助:22件、他:9件、手話:39回(265人)、陶芸:40回(374人)、行事:13回(117人)</p>		営業日	火・水・金・土																				
		営業時間	9:00～16:00																				
		対象者	障がい者 菊池圏域住民																				
番号	事業の名称	継続	事業形態																				
202	合志市相談支援事業1(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																				
<p>(事業内容)</p> <p>障がい者(児)・そのご家族等の相談に応じ、福祉サービスの紹介や、相談支援を行った。社協での相談支援事業所であることから、住民以外にも他事業所、保育園、幼稚園、学校(支援学校)からの相談や、医療機関等も含めての相談対応した。複雑な課題を抱えるケースにも、関係機関で共有し課題の解きほぐしができた。菊池圏域自立支援協議会員として各部会への参加、サービス部会活動等への協力も行った。</p> <p>H31(R元)年度一般相談件数:4,820件</p>		営業日	月～土																				
		営業時間	8:30～17:30																				
		休日 日、祝日	12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援方法</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>同行</th> <th>電話</th> <th>メール</th> <th>会議</th> <th>調整</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>991</td> <td>321</td> <td>138</td> <td>2,060</td> <td>34</td> <td>581</td> <td>690</td> <td>5</td> <td>4,820</td> </tr> </tbody> </table>		支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計		991	321	138	2,060	34	581	690	5	4,820	対象者	合志市住民他
支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計														
	991	321	138	2,060	34	581	690	5	4,820														
番号	事業の名称	継続	事業形態																				
202	合志市相談支援事業2	継続	合志市受託事業																				
<p>(年間相談支援内容)</p> <p>支援内容別年間件数。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>① 福祉サービス調整 4,048件</td> <td>⑦ 家計・経済 18件</td> </tr> <tr> <td>② 障がい病気の理解 34件</td> <td>⑧ 生活技術 34件</td> </tr> <tr> <td>③ 健康医療 129件</td> <td>⑨ 就労 62件</td> </tr> <tr> <td>④ 不安・情緒安定 294件</td> <td>⑩ 社会参加余暇活動 6件</td> </tr> <tr> <td>⑤ 保育・教育 47件</td> <td>⑪ 権利擁護 4件</td> </tr> <tr> <td>⑥ 家族・人間関係 30件</td> <td>⑫ その他 116件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1件の相談において複数の内容があり、支援方法と支援内容の件数に誤差が生じる</p>		① 福祉サービス調整 4,048件	⑦ 家計・経済 18件	② 障がい病気の理解 34件	⑧ 生活技術 34件	③ 健康医療 129件	⑨ 就労 62件	④ 不安・情緒安定 294件	⑩ 社会参加余暇活動 6件	⑤ 保育・教育 47件	⑪ 権利擁護 4件	⑥ 家族・人間関係 30件	⑫ その他 116件	営業日	月～土								
① 福祉サービス調整 4,048件	⑦ 家計・経済 18件																						
② 障がい病気の理解 34件	⑧ 生活技術 34件																						
③ 健康医療 129件	⑨ 就労 62件																						
④ 不安・情緒安定 294件	⑩ 社会参加余暇活動 6件																						
⑤ 保育・教育 47件	⑪ 権利擁護 4件																						
⑥ 家族・人間関係 30件	⑫ その他 116件																						
		営業時間	8:30～17:30																				
		休日 日、祝日	12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																				
		対象者	合志市住民他																				

番号	事業の名称	継続	事業形態						
204	指定特定相談支援事業	継続	障がい者総合支援法						
(事業内容) 障がい者の方が自立した生活に向けて適切にニーズに合った福祉サービスを利用できるよう、相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。		営業日	月～金						
H31(R元)年度年間実績		営業時間	8:30～17:15						
<table border="1"> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>181件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>385件</td> </tr> </table>		計画相談契約者総数	200件	サービス利用計画総数	181件	モニタリング報告総数	385件	休日	日、祝日 12/29～1/3
計画相談契約者総数	200件								
サービス利用計画総数	181件								
モニタリング報告総数	385件								
		対象者	障がい者						
番号	事業の名称	継続	事業形態						
205	指定障がい児相談支援事業	継続	障がい者総合支援法						
(事業内容) 障がいのある児童が適切にニーズに合った福祉サービスの利用ができるよう保護者の相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。		営業日	月～金						
H31(R元)年度年間実績		営業時間	8:30～17:15						
<table border="1"> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>291件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>327件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>441件</td> </tr> </table>		計画相談契約者総数	291件	サービス利用計画総数	327件	モニタリング報告総数	441件	休日	日、祝日 12/29～1/3
計画相談契約者総数	291件								
サービス利用計画総数	327件								
モニタリング報告総数	441件								
		対象者	障がい児						
番号	事業の名称	継続	事業形態						
211	児童発達支援事業1	継続	児童福祉法						
(事業内容) 発達に心配のある児童や障がいを持った児童が、できる限り身近な場所で支援を受けられるよう行った。個別支援計画に基づき、ふだんの暮らしの中で、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣の指導を取り入れ、児童の発育を育む・丁寧な子育てを実施した。月・水・金:言葉遊び、火・木:OTとの運動遊び、季節毎の制作、外出行事(1～2ヵ月に1回程度)、集団・地域行事への参加(土曜日及び長期休み)を取り組み内容とした。スペインアれんがと合同行事をすることで、異年齢交流も深めることもできた。また、熊本保健科学大学の協力のもと、言語聴覚士学科准教授による指導や学生のボランティア協力も得ていることで専門性の療育支援が提供できた。		営業日	月～土						
		営業時間	月～金 8:30～17:30 土:8:30～13:00						
		休日	日、祝日 12/29～1/3						
		対象者	未就学の障がい児						
		利用定員	10名						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
211	児童発達支援事業2	継続	児童福祉法		
(年間実績者数)					
延べ利用者数	開所日数	平均利用者数(日)			
1,982人	290日	6.8人			
(登録者数)					
障がい種別	身体	知的	発達	無診断	計
	2	8	0	26	36人
年齢別	未満児	年少	年中	年長	計
	9	6	7	14	36人
・新規契約数:17人					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
211	児童発達支援事業3	継続	児童福祉法		
(見学・会議等連携)					
保護者見学	22件	保育所から	1件		
保育所へ	2件	事業所内相談	0件		
関係機関連携	2件	個別支援会議	各児年に2回実施		
保護者参加型活動	熊本保健科学大学体験(6/27・11/16) 保護者会①グループトーク3回 (熊本保健科学大言語学聴覚士含む) ②親子参加型活動2回 クリスマス交流音楽交流会(12/8)				
(外部講師)					
・熊本保健科学大学(准教授)言語聴覚士言語訓練(1ヶ月に2~3回程度) (地域住民のボランティア協力行事及び地域交流行事) ・BIBこうしお話会、マジックショー(マジッククラブ)、芋あん団子汁大会、 そうめん流し、クリスマス会、もちつき、どんどや、夏休み児童館行事、おもちゃ図書館					



児童発達支援事業にて芋ほり体験の様子

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
障がい支援課 スペーシアれんが		7	17	24
		人	人	人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

「障がい者支援センター」としての事業を開始し、8年を経過した。今年度は、障がい福祉サービスの居宅介護事業を介護保険事業の訪問介護事業と統合し、当センターは2課制を1課3班制になり、障がい児・者通所事業（児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護）、障がい児・者の相談支援事業（計画相談）・地域相談（地域移行・地域定着）・委託事業（日中一時・地域活動支援センター）を実施した。このことにより各事業間や職員との連携を図ることができ、それぞれの役割や専門性を発揮した支援を行った。

また、障がいの理解や支援の質の向上のための県や療育センター、児童発達支援センター等が実施する研修へ年間を通じて計画的に参加し、職員のスキルアップに取り組み、課内研修や勉強会・ミーティングの内容を各事業で見直し、職員一人ひとりが責任を持ち業務に向き合う仕組み作りに取り組んだ。

【放課後等デイサービス】（重心児5名・重心児外10名）

- 個別支援として、各担当職員が利用児の障がい特性や課題に応じて、必要な教材等の準備や作成を行い、利用児の意欲の向上や「できた」という経験を増やす取り組みをした。
- 月間プログラム予定表を作成し、運動や戸外活動、外部講師（ストリートダンス）の導入など幅広い活動を実施した。
- 支援提供前後のミーティングやヒヤリハット事例に気付く視点等を職員全体で共有し支援の質の向上や業務改善、課題解決に向けて取り組んだ。また、月に1回、障がい特性の理解のため、職員の勉強会を実施し基礎から学ぶ取り組みを行った。
- 医療的ケア児を受け入れるため、重心児外にも看護師を配置し、気管切開等の医療的ケアにも対応できる体制を整え4月～9月まで算定した。

【日中一時支援】

- 合志市内において、放課後等デイサービス事業所が増加し、レスパイトケアも含め障がい児の過ごす場所が確保されている状況となり、ニーズは減少している。しかしながら、成人期の重度障がい者のレスパイトケアとしては、数名のニーズがあるも、学童期の利用児との活動内容や対応する職員不足が課題である。

【生活介護】（定員7名）

- 職員配置が整い、業務分担が効率的に実施できた。利用者のニーズに沿っての個別対応や、業務上の負担軽減も図ることができた。
- 美化作業、ゴミ拾い、赤い羽根共同募金などの社会貢献や地域活動支援センターでの手話教室、陶芸教室などの参加により地域住民の方とともに様々な活動に参加した。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 生活介護

- 室内における活動スペースの狭さが課題。特に長期休暇中は学童期の利用児と共有するため、静養や不安時のスペースの確保が難しく、周囲の利用者に危険が及ぶ可能性や室内運動が十分に行えない状況がある。

3 今後の方向性

(1) 放課後等デイサービス

- 重度障がい児の活動や遊びの充実化。視覚支援や構造化などスペーシアの環境整備。

(2) 日中支援

- 18歳以上の成人期の受け入れは、今年度をもって終了する。

(3) 生活介護

- 社会貢献としての赤い羽根共同募金（缶バッチ）の合志市内での公募企画の実施。

番号	事業の名称	新規	事業形態																						
213	日中一時支援事業	継続	合志市委託事業																						
(事業内容) 合志市在住の障がいのある小・中・高校生及び卒業後継続利用者、生活介護利用者の日中一時預かりを行った。主にレスパイト目的の利用のため、成人期の利用ニーズが増えている。 (年間利用者数) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>308人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>290日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数</td> <td>1.06人</td> </tr> </tbody> </table> (利用者・利用児数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>行動援護対象者</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6人</td> <td>16人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度		延べ利用者数	308人	開所日数	290日	平均利用者数	1.06人	区分	行動援護対象者	その他	合計	令和元年度	6人	16人	22人	営業日	月曜日～土曜日						
令和元年度																									
延べ利用者数	308人																								
開所日数	290日																								
平均利用者数	1.06人																								
区分	行動援護対象者	その他	合計																						
令和元年度	6人	16人	22人																						
		営業時間	8:30～17:30																						
		休日	日、祝日、年末年始、長期休の土曜																						
		対象者	障害児・者																						
		利用定員	平日5人 休日8人																						
番号	事業の名称	新規	事業形態																						
215	生活介護	継続	障がい者総合支援法																						
(事業内容) スペースアレンがにおいて、日常生活に必要な援助を要する障がいをお持ちの方に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、日常生活上の支援、創作活動、生産活動その他身体機能・生活能力向上のための機会を提供した。生産活動においては「廃物せつけん」や缶バッジ等を作り、クラッシーノ合志等で委託販売。また、赤い羽根共同募金事業と共同し缶バッジを作成、各行事でブースを設置し、景品に使用されたことで、募金の呼びかけにも役立つことができた。 (年間実績者数) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1540人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>240日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>6.41人</td> </tr> </tbody> </table> (障害区分別利用者数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度		登録者数	12人	延べ利用者数	1540人	開所日数	240日	平均利用者数(日)	6.41人	区分	3	4	5	6	合計	令和元年度	2人	2人	6人	2人	12人	営業日	月曜日～金曜日
令和元年度																									
登録者数	12人																								
延べ利用者数	1540人																								
開所日数	240日																								
平均利用者数(日)	6.41人																								
区分	3	4	5	6	合計																				
令和元年度	2人	2人	6人	2人	12人																				
		営業時間	8:30～17:30																						
		休日	土、日、祝日 12/29～1/3																						
		対象者	障がい者																						
		利用定員	7人																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																						
212	放課後等デイサービス事業	継続	児童福祉法																						
(事業内容) スペースアレンがにおいて、障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し、利用児の健全育成を図ることを目的に実施した。また、就労されている保護者への支援としても、午前7:30から午後7時までの延長預かりを実施した。気管切開等の医療的ケア児に対応するため、看護師の配置を行い対応した。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3049人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>290日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>10.51人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度		延べ利用者数	3049人	開所日数	290日	平均利用者数(日)	10.51人	営業日	月曜日～土曜日														
令和元年度																									
延べ利用者数	3049人																								
開所日数	290日																								
平均利用者数(日)	10.51人																								
		営業時間	8:30～17:30																						
		休日	日、祝日 12/29～1/3																						
		対象者	障がい児																						
		利用定員	重心児外:10名																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
212	放課後等デイサービス(重度心身障害児)	継続	児童福祉法								
(事業内容) スペースアれんがにおいて、重度心身障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し子どもたちの健全育成を図ることを目的に実施した。医療的ケアを必要とする児童に対して看護師の人員配置を整え、より細やかなケアの提供を実施した。また、就労されている保護者への支援としても、午前7:30から午後7時までの預かりを行った。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業(重度心身障害児))		営業日	月曜日～土曜日								
		営業時間	8:30～17:30								
		休日	日、祝日 12/29～1/3								
		対象者	重度心身障がい児								
		利用定員	5人								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1323人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>290日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>4.56人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度		延べ利用者数	1323人	開所日数	290日	平均利用者数(日)	4.56人		
令和元年度											
延べ利用者数	1323人										
開所日数	290日										
平均利用者数(日)	4.56人										



放課後の外出で県庁訪問・くまモン、副知事と記念撮影



れんが香梅芸術展での音楽演奏会の様子

担 当 課	職 員 数	常 勤	非 常 勤	合 計
生活支援相談センター		4 人	2 人	6 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 地域福祉権利擁護事業は、年間の相談及び対応数は増加している。理由としては、家族支援が困難な方の複合的な生活課題の対応があげられる。成年後見制度利用へ移行においても法人後見運営委員会において、各専門職委員の助言により適切な対応ができる体制ができた。
- (2) 法人後見事業は、1件(後見類型)受任し、各専門職委員の協力により後見支援開始した。
- (3) 生活困窮者自立相談支援事業では、経済的困窮、心身・家庭・就労など複合的な課題に対して、総合的な相談対応を行い、相談件数は増加している。
第二のセーフティネットとしての機能を発揮し、生活保護へ至る前の段階での自立を支援(家計改善支援、就労支援、障害年金受給手続き支援等)し、保護が必要と判断される方については福祉事務所へつないだ。プラン作成者の99%が生活に変化がみられたと評価しており、就労支援プラン作成者の59%が一般就労につながり、48%が就労収入増加した。前年度、合志市税務課からの税滞納者のつながりについても家計改善が見られている。
- (4) 課題解決のために社協各部署及び合志市各課、社会福祉法人、一般企業、各専門家等と連携し、緊急時の食糧支援や生活困難者レスキュー事業による現物給付(食材、ライフラインの復活等)、日用品や被服の支援、多重債務・税滞納の方への法律相談、ハローワークとの連携による就労支援、居所確保支援、ひきこもりの方への支援、高齢・障がい者の各サービス利用援助、福祉金庫活用による緊急貸付対応等総合的に支援を行った。
- (5) 本年度は、一時生活支援事業の需要が多く、シェルターでは足りずに社会福祉法人の協力やビジネスホテル活用を行った。各関係機関の協力を得ながら住居喪失者支援に柔軟に対応した。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 生活困窮者は、すでに顕在化している場合と課題を抱えているが見えにくい場合があるため、生活困窮・高齢・障害、ひとり親世帯など複合的な課題を受け止めることができる職員育成。
- (2) 様々な課題を抱えている方や複数の相談機関が関わっている場合など、関係機関との情報共有及び連携をすることが、より適切な支援につながると判断した際に円滑に支援会議及び包括化推進会議を活用した支援体制の確立。

3 今後の方向性

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業及び合志市相談支援事業の受託事業を柱に総合的な対応となるよう各関係機関との連携、職員間の情報共有により本人の状態像に応じたきめ細かい支援ができる体制を構築する。
- (2) 成年後見事業については、専門職の監督により利用者にとって有益となるよう支援体制を強化する。
- (3) ひきこもり支援の周知に向けた支援体制の検討。
- (4) 成年後見事業及び将来に不安を抱える方の支援(任意後見・死後事務)について、専門家の助言により、地域で安心して暮らせるための検討を継続する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
226～ 229	(委)生活困窮者自立相談支援事業	継続	合志市受託事業																					
(事業内容) 合志市の住民を対象に経済的困窮のみならず心身の問題、家庭の問題、就労の問題など複合的な課題に対しての相談対応及び支援を行った。訪問(アウトリーチ)による対応を含め、自立支援計画(支援プラン)を作成し、法に基づく事業等(支援サービス)を活用し対応した。 (実績)・新規相談受付件数 249件(前年度235件) ・支援決定確認数 49件 ・評価実施件数 72件 ・継続相談(実人員) 369人(平均 相談員ひとり123人) ・相談援助数 2,454件 (法に基づく事業等の活用) ・住居確保給付金 0件 ・就労準備支援事業 7件 ・一時生活支援事業 4件 ・就労支援 13件 ・家計改善相談支援事業 44件 ・子どもの学習生活支援事業 19件		根拠法	生活困窮者自立支援法																					
		実施日時	月曜日～金曜日 8:30～17:15																					
		実施機関	ヴァーブル																					
		対象者	合志市民																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
231	緊急食糧支援業務	継続	その他 独自																					
(事業内容) 生計困難者であって、緊急対応が必要な方に現物給付による支援を各機関に協力を得ながら実施した。 ○生計困難者レスキュー事業 (熊本県社会福祉法人経営者協議会社会貢献事業) 熊本県社会福祉法人経営者協議会の協力により、生計困難者であって現行制度で対応が困難な方 ・支援回数 10件 ○食料支援 市民・団体(日本非常食推進機構・JA女性部)の協力によりいただいた食料も現物給付で支援。 ・支援回数 67回 ・給付物品 米、レトルト副菜、缶詰など		支援日	随時																					
		対象者	合志市在住 生活困窮者																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
232 234	相談支援、支援計画の作成 福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理	継続	県社協委託事業																					
認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるよう福祉サービス利用援助を中心として、支援計画に沿った日常的な金銭管理サービス、重要書類の預かり等の権利擁護支援を実施した。 緊急的に支援が必要な方の本会独自預かり事業も実施した。		根拠法	社会福祉法第2条 第3項																					
		実施日時	通年																					
		実施場所	ヴァーブル																					
		実施機関	本会																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談援助件数</td> <td>3,562件</td> <td>2,747件</td> </tr> <tr> <td>新規契約締結件数</td> <td>4件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>22件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>終了件数</td> <td>4件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>実利用延べ数</td> <td>125名</td> <td>98名</td> </tr> <tr> <td>社協預かりサービス数</td> <td>7名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>			令和元年度	前年度	相談援助件数	3,562件	2,747件	新規契約締結件数	4件	5件	新規相談件数	22件	19件	終了件数	4件	3件	実利用延べ数	125名	98名	社協預かりサービス数	7名	2名
	令和元年度	前年度																						
相談援助件数	3,562件	2,747件																						
新規契約締結件数	4件	5件																						
新規相談件数	22件	19件																						
終了件数	4件	3件																						
実利用延べ数	125名	98名																						
社協預かりサービス数	7名	2名																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
233	生活支援員の指導及び監督	継続	県社協委託事業
○認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、福祉サービス利用援助において、利用者宅を生活支援員と同行訪問した。 ・利用者実人数 10名 (R2.3月末現在) (内訳:認知症5人、知的障がい2人、精神障がい2人、その他1人) ・生活支援員3名(生活支援サポーター受講修了者) ○支援員研修の実施(職員合同) 実施数:3回 内容:成年後見(身上保護)、情報共有	根拠法	社会福祉法第2条第3項	
	実施日時	通年	
	実施場所	ヴァーブル	
	実施機関	本会	
	人数	3名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
235～ 236	関係機関との協働研究及び委員会の運営 委員会による研究と連携ネットワーク	継続	独自
○成年後見制度利用促進基本計画策定に関する協議 ・合志市(包括支援センター・福祉課)と本市における成年後見制度促進計画策定にむけた協議 ・事例を通じた成年後見制度の検討 出席:司法書士・社会福祉士・市(包括支援センター・福祉課)・社協 ○関係機関との会議 ・家事関係機関との連絡協議会(家庭裁判所主催) ・市町村意見交換会(県主催) ○職員研修 3回 ○法人後見運営委員会設置 受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を担保することを目的に設置 ・委員:弁護士・司法書士・社会福祉士・市福祉部長・社協常務理事 ・委員会開催 年3回実施	根拠法	民法843条	
	実施日時	通年	
	実施場所	ヴァーブル	
	実施機関	本会	
	人数		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
237～ 241	成年後見等受任 任意後見人契約 後見人等との相談及び支援 市民向け相談及び周知 制度外支援(死後事務等)の研究	継続	独自
認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人、保佐人または補助人となることにより財産管理、身上保護を行い、権利を擁護することを目的に実施。法定後見人等受任については、法人成年後見事業運営委員会で協議し、決定を行う。 ○法人後見事業 ・受任1件(後見類型) ・成年後見制度についての相談対応を行い、必要時には関係機関へつなぎ支援した。 ○成年後見相談 12件 ※任意後見人契約及び制度外支援(死後事務等)の研究については、専門職からの助言を受けながら協議継続	根拠法	民法843条	
	実施日時	通年	
	実施場所	ヴァーブル	
	実施機関	本会	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
	合志市相談支援事業	新規	市委託事業
	<p>障がい者及び障がい児、その保護者または介護を行う方の相談をヴィーブル内で行うことにより、市関係機関やサービス事業所と連携を行い実施した。れんがの家の専門相談員を配置することにより強化できた。</p> <p>○相談総数 5,597件／年</p> <p>○新規登録者数 156人(児童49 成人107)</p> <p>○相談内容 福祉サービスの利用等に関する支援 4,141件 不安の解消・情緒安定に関する支援 359件 家計・経済に関する支援 291件</p> <p>○虐待相談 2件</p>	根拠法	障害者自立支援法
		実施日時	通年
		実施場所	ヴィーブル
		実施機関	本会
		人数	登録数982人



放課後等デイサービス外出行事での県庁でくまモンと撮影の様子

安心創造ネットワーク

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

□本 所 保健福祉センターふれあい館 TEL 096-242-7000
〒861-1102 熊本県合志市須屋2251番地1 FAX 096-242-6635

ホームページ <http://www.koshi-shakyo.or.jp>